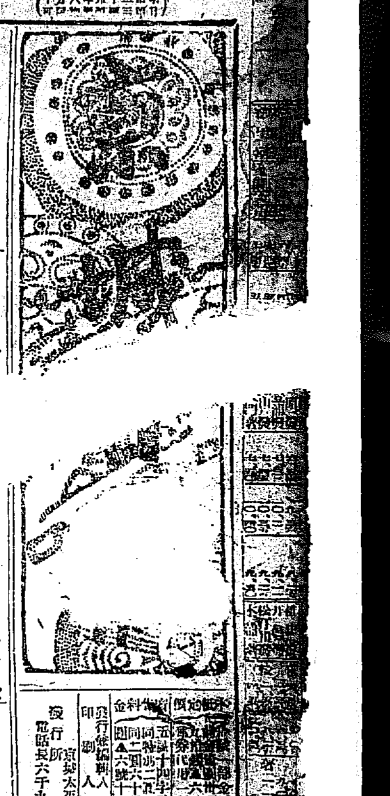


福井君の自殺に就て

S、M、生

福井君の遺書なるものが發見された、それに依ると『病躯の爲め職責を完うする事が出來ない』[illegible]に此考へその者が既に病者の病的考察では無からうかとも考へられる日本人の多くはイザと云ふ場合常に『一死以て何事をも解決せんとする極めて無責任な考へを起す、私は自殺を絶對に罪惡と説く所謂基督者に同意するものではないが、死んだら總ての問題が解決されると云ふ思想は極めて危險な思想だと思ふ、死んでも好い生恥を曝すより死んで汚名を全うすると云ふこともある、世間には死すべき時に死し得ずして恥を天下萬人に曝したものが朝野の名士なるものに何程もある、斯る如き輩は固より論ずるに足らぬ、私は斯る破廉恥漢と吾福井君を同列として論ずるのではない、福井君を人格高潔なる君子人として同君の爲に惜むのである、死易生難とやら人生進んで易に就くは卑怯なる所爲ではあるまいか、同君の胸中は能く其周圍の事情を知らないが私は只其遺書のみに依つてそれを文字通りに解釋して少しく『自殺』に就て論じて見たいと思ふ

遺書に曰く『職責を全うする能はざるが爲に死す』とあるがそれでは死んで職責を全うすることが出來るのだらうか、理窟を言ふのでないが之れでは論理に合はぬ、あの場合何も死を擇ぶ必要は毫もないではないか、若し同君にして尸位素餐の譏を免れんとしたならば解決は極めて簡單ではなからうか、曰く辭職の一事以て後事を全うすることが出來たのではなからうか、然し一概には云へぬあの場合推薦者の手前、自らの意、辭めるに辭められぬ行掛りになつて居つたかも知れぬ、若しさうだとすれば私は之を總ての情實に囚はれたことゝ解釋したいと思ふ、世所で輿論は情實の爲に一死を賭することの可否に歸着することゝなる、由來東洋人には意氣に感ずると云ふことがある、成敗利鈍を問はず生死を度外視して此情實に殉ずると云ふ一種の風がある（[illegible]）[illegible]風と心得て居る）[illegible]死なくても濟む場合でも死んで[illegible]

[illegible]を吹かさうと云ふて濫用する、無理心中[illegible]如きは其標本だ、之は[illegible]者が悪いのではない。[illegible]し讃美する世間が惡い[illegible]者必ずしも偉人でも無け[illegible]美人でもないと[illegible]私は此機會に於て[illegible]る者は一種卑劣の行爲である此一文を見て死屍に鞭つこの東洋流の批評をするものがあつたら夫れは見當違ひである。私は繰返して云ふ吾福井君の死に就ては只其遺書のみに依つたので其間の詳細なる事情を知らぬ、茲には只此場合に於て『自殺の可否』を論じたに過ぎない、大方の諸士諒之矣

屑屋の籠

眼汀生

旅日記（其の四）

長崎灘から平戸海峡の難所

船が野母崎の半島より脇村岬の沖を過ぎ、高縄半島に沿うて、権取崎（高崎の岬）を右舷に見て、大隅の鼻を廻り、航海の難所として聞こゆる來島海峡にかゝつたのは、午後八時三十分の頃であつた。來島海峡は安藝灘と燧灘との水路に當り、瀬戸内海中、通航船舶の最も警戒を要する處である。此の海峡には馬島を中心として其西北に小島といふのがある、そして此の兩島の中間を西水道と稱する。又馬島と大島（伊豫）との間には石造圓形白色の燈臺や潮流及び船舶通航の信號所のある中渡島と、其の東北に小さな東島がある。馬島と中渡島との中間が中渡水道となり、中渡島と東島との間が東水道と呼ばれて居る。中渡水道は馬島にも燈臺があるので、西水道よりも通り易いが、其の代りに潮流が最も急で、恰も矢を射るやうである。船の針路は東から來るものは西水道を取り、西から來るものは中渡水道を取ることになツて居るが、此の海峡を通るには頗る操縦の熟練を要する。それは其の漲潮は大隅の鼻から南東に向ひ、落潮は之に反對に流るゝので、大潮の折には一時間六哩の速度に達して、岩礁を衝き、島嶼を掠めて奔流するばかりでなく、潮流の工合が稍巴の形をなして、其の間に島嶼や岩礁があるからである。急潮を受けつゝ、ある船を、快速に廻轉する場合、若し舵の働が敏活でなかツたならば、誠に危險至極である。若石は特化島石で水面に露はれた部分は青松に遮られ、其の下には白砂の灘がな[illegible]、又は微しく白色の岩塊を顯[illegible]て、好い景色の要素を成し[illegible]ので、船客は唯其の風光に荒惚れて居るが、船長の[illegible]通りでない。夫れ故、[illegible]ては、僅少の時間[illegible]い、所謂北水道、即ち[illegible]原瀬戸）を選ぶさうだ[illegible]通り過ぎたの[illegible]南水道[illegible]此處を來島海峡と[illegible]では居るが、來島は此の海峡に面する波止濱の鬪口に在る極めて小さな島の名である。

小説 運命（二一）

原田東風

熊倉の念頭には小松のことなど何うでも好かつた、以前は親しく往來もしたが、小松の自墮落な生活には何時か愛想を盡かしてゐるばかりか、熊倉も[illegible]熊倉とは違つて、一身の計りごとをなす外には他に何物も顧みる暇もない程、それだけ生活に忙しくそれだけ過去の不遇や失意に懲りてもゐた。

『さうも思つてゐるけれど、併し打ッ捨つても置けんやうな氣もするしなア』

青木は憤慨するものゝ、やはり多年の友誼として傍觀するにも忍びないやうな氣持ちがした如何程顚倒しても忠告して小松には馬耳東風だが、それでも自分が忠告せねば他に忠告するものがない、忠告も何の甲斐はないと知つても、それでも打ッ捨ッて置けば、徒、墮落し、徒、深淵に沈んで、果は浮かぶ瀬もなければ、そのまゝ溺れて死ぬのを恐れたのだと言つて自分にもそれを引上げる力はないが、さりとて平氣で見てゐられるほど冷淡な青木ではなかつた。力はないまでも何うにかせねばならぬと思つて、急つたりヂラ〳〵したりするのが青木の性癖でもあつた。

『でも我々の言ふことを聞かんのだから仕方がないじやないか』

『それもさうだけれど、併しあのまゝで往つたら終ひには乞食にでもならんばいゝがと思ふんだ』

『まさか……』

『イヤ、何とも言へないよ、根が正直な氣の弱い男だからな、如何程腐したからつて惡いことの出來る男ではなし、と言つて自殺する勇氣もないのだから、いよ〳〵食へないとなれば乞食でもするより外仕方がないじやないか、……實は今頃は木賃宿あたりをウロッキ廻つて、或はもう乞食に近いやうな生活をしてゐるんじやないかと思ふんだ』

青木の言葉の餘りに突飛なのに、熊倉は一笑に附してゐる。が併し青木は眞面目であつた。

『まさかッ、如何様何んでも乞食にはならうだよ、ハツハツ』

『イヤ、僕は何んとも言へないと思ふんだ』

『だッて無智無能の男と違つて兎に角大學へまで入つたんじやないか、それも以前は俊才だッたんだらう、好し間違つてあんな男になつたとしても、仕様こ思へば何だッて出來るし、又それほどまで窮して來れば如何様無性だッて動かずにはゐない』

青木が飽まで熱心に言ふと、熊倉もつひ引き込まれて思はず熱心になつた。

『イヤ、其れは未だ君が彼奴を好く知らないからだよ、窮して動くものなら僕も案心してゐるけれど、彼奴は尻に火が點いたッて動く男ではないんで、動かねばならん機會や事件が如何程もあつたんだ、第一學資を絶たれた時だッてあれが普通のものなら大いに憤慨するとか、發奮するとかせねばならんし、いよ〳〵郷里を引き上げてお母さんを連れて來た時だッてさうだ、今までとは違つて金の入りごころがないのだから、一生懸命に奉公口でも探して差詰め母親を養はねばならないんだけれど、そんな心は一向動かないし、仕方なしに[illegible]から奉公口を探して徃けばそんな所は面白くないとか、詰まらんとか言つて、先づ賣るものでもある中は賣つて食つてゐやうといふ量見だらう、仕末に否けんじやないか』

新刊紹介

△演藝畫報（九月號）金一圓△東京京橋區南佐柄木町七特獎堂

△婦人之友（九月號）栗博士の戀愛事件が批判したる羽仁もと子三宅雪嶺外三大家の嚴正なる意見は同問題に關連して天下の男女に一大警告を與へ其他本號に掲載されたる特別記事紙面に横溢し婦人必讀の好文字なり

△成金（創刊號）本誌の誌名を『成金』と命じた成金とは近代物質的成功者に對する代名詞であつて從來使はれたる『成功』よりは遙かに狹義の意味の熟語である而して本誌は今日的經濟上の優勝者たらんとして一部人士の誤れる嘲笑に反し斯る誌名を命じた、もの以て其内の如何を知るべし（金二十錢△東京神田小川町一帝國殖産興業獎勵會）

△家（八月號）金四十錢△東京京橋區三十間堀三ノ一一建築書會

定價 一部金五錢 一ヶ月金壹圓 [illegible] 三ヶ月同三圓 六ヶ月同六圓 [illegible]
廣告料 五號一行 [illegible]
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長六千九番・長六千二番 振替京城三〇〇番

中古品通信販賣之元祖　他店より必ず廉賣
中古洋服

折襟三ツ揃金拾五圓より　詰襟上下金拾二圓より　オーバーコート金拾三圓より　二重マント金拾五圓より　同學生服金拾八圓より　[illegible]
東京市神田區東松下町電車通　電話神田[illegible]　振替口座東京[illegible]
山萬次郎商店

生徒募集　京城自動車學校
京城府黄金町三丁目　每月一日十六日開始　[illegible]
姉妹校　福岡自動車學校　大阪西區[illegible]
規則送呈

帝國大學講師[illegible]著　其の教義
東京市小石川區原町六六　丙午出版社
華嚴綱要　信仰問題　宗教便覽　癩の蟲
人生の行路　俱舍論講話　義民か逆徒か　民力涵養
文學博士 村上專精先生著　高島米峰先生著　加藤咄堂先生著　[illegible]

職業　無資本 特許品 女子に最適　内職
貸與 月末賞與金　合有製品永久賞受
説明見本無料進呈　特約店大募集
大阪市東區舟橋町停留所北　豐國商會

最廉價提供　稻扱　◎式　貸取引　特約有利
大阪市[illegible]

入札廣告
當公家所管慶南漁場九月廿四日入札ノ上貸付ス委細ハ當公家事務所ニ照會ヲ乞フ
大正拾年九月九日　李堈公家

▲産婆生徒募集　規則書要郵券
福岡市外水茶屋町　福岡産婆養成所

最新刊
島　二、八〇
蝙蝠　三、八〇
我等の心　二、六〇
偉人の青年時代　一、六五
蓮自選歌集　三、五
吉井勇選集　一、四三
京城　大阪屋號

鳩居堂の
最上エノグ
十二色絞り出シ　一個　十錢
以上各種　目錄御報次第呈送
熊谷鳩居堂　京都寺町　振替＝大阪六三八

金丸の鐵砲でこの通り!!!

新荷着（獵銃、獵具、ピストル、空氣銃 其他全備）
（定價表郵呈）
橫濱市本町　合資會社 金丸銃砲店　店主 西村潤藏
電話本局一五五番及六九五番　振替口座東京四七一番

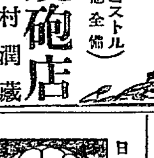
時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて迅速
京城本町二丁目　三浦天龍堂　電話一〇〇二番　振替京城三〇四番

水車唐箕　製造販賣　京城[illegible]町二丁目 電話取次一四七　元祖 飯田工場

貴金屬　時計
京城本町四丁目　電話一七九一　村木時計店

◎女に學問は不必要だ!!
なぞと云つたのは昔のことです。今では高等女學校へ行かない方は一人前の女とは申されません。女學校へ行かない方は[illegible]
高等女學講義錄
校長 下田歌子女史　講師 女子教育大家
本校では創立以來十九年といふ長い間の經驗と懇切な指導と優秀な講義錄で僅か一ケ年半の短時日を以て高等女學校卒業程度の學力をつけて上げますこれからの世の中へ出ていろ〳〵耻づかしい思ひもしないで濟むやうにぜひ本校の理想的な通信教授を御受けなさい。
大日本通信高等女學校


東宮殿下御渡歐記念寫眞帖
日本國際寫眞通信社編
申込所 東京市麴町區飯田町五ノ十五　日本國際寫眞通信社　電話九段二五二七番　振替口座東京四八一六四番

新學年開始
獨學青年の最大福音！自宅で中學卒業の實力が得られる
早稻田中學講義
大隈侯統裁
申込次第見本呈送
東京牛込　早稻田大學出版部　電話番町三四五・三七四・二四二二

!!!内地引揚げに就き謝恩賣出!!!
弊店儀
開店以來十數年間斯業に從事致し大方各位の厚き御同情に浴して年に月に隆盛に趣き益々發展するを得たるは偏に各位の御引立の賜こして厚く御禮申上候陳者此度更に一層業務發展の爲め都合にて至急郷里に引揚げ候事と相成候右に付商品整理を兼ね聊か平素の御報恩と御禮の爲め持品全部を破格値段に致しその上均一販賣を決行致す可く候間
來る九月八日より同廿日迄
謝恩提供賣出し致候へば何卒期間内に御來店の上御買上げ奉願候
夏物、冬物、全部破格提供
毛布、メリヤス、靴下、雜貨一式
京城本町貳丁目　尾張屋メリヤス店　電話六一四番

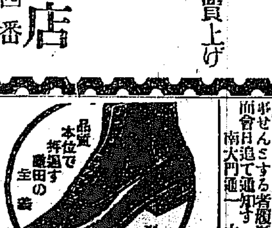
轉居廣告

從來赤坂區丹後町一番地に假寓罷在候處今月一日より左記へ移轉定住仕候事と相成申候間此段辱知諸彥へ御報告仕候

大正十年九月一日

東京市麻布區東鳥居坂町八番地　熊本利平

左官建築材料
防水劑 ウオータイト タンタルス　白セメント 石灰 青竹
左官材料一式　色土 砂 金剛砂　布海苔 角又 麻苆 玉　塗料 用品 刮 粉
煉瓦 左官用道具一式　建築材料各種　火山灰 硅藻土　耐火煉瓦 粘土　煉瓦 土管 瓦 石膏　各種苆類製造　鑄工鐵工所用品
九州火山灰株式會社 朝鮮總代理店
日本耐火煉瓦株式會社 朝鮮代理店
小野田セメント株式會社 特約販賣
京城瓦斯電氣株式會社 瓦斯コークス コールタール 一手販賣
卸商 戸澤商店　京城長谷川町 電話[illegible]


品質本位で推奨す 亀田の靴
型錄進呈
東京芝愛宕下町四丁目一番地　亀田靴店

採用　内地人事務員一名　内外に經驗有る者履歴書持參午前九時迄に來談　黄金町シンガーミシン會社　電話一五四二番
採用　外事社員經驗の有無を不問斯業に熱心な事を要せんとする者履歴書送付の事 面會日追て通知す　南大門通一　大同生命支部
募集　絹糸布卸商　十五歳以上二十三歳迄内地人ニ限ル　京城府長谷川町　鬼頭支店
金融　秘密取扱　京取建株ニ金融　守日步安　明治町一ノ七六　保田方　竹下　電話長二四〇番
讓渡　米國自動五連發獵銃　御入用ノ方ハ[illegible]番地[illegible]方ニ御問合セ[illegible]
店員入用　京城南山町二丁目　天眞樓
讓店　カフエー本町目抜の場所至急讓りたし　希望者は左記へ御照會を乞ふ　電話五六七番
小店員入用　十六七歳迄者二三名　可成始めての者　京城南大門市場　辻本商店　電話六四一
被雇　甲種商業卒業廿一歳　商事株式仲買店員トシテ雇ハレタシ　姓名在社
外交員　數名至急募集　希望者は本人來談あれ市内に保證人必要す　京城支那領事館前　小川　電話四〇一番
女中　至急入用　希望者は電話一〇一四番へ
京日案内

山東提案內容

【東京電報】山東問題直接交渉に關しては屡報道せる通り我が駐米幣原大使は米國々務卿ヒューズ氏と屡々意見の交換を行ひヒューズ氏は之が解決を華盛頓會議前になす事を希望し居りしが我が政府としては進で交渉開始を希望し先づ小幡公使は支那政府との間に意見の交換を行ひたる上之が成案を得て外交調査會の承認をも得たるを以て昨北京電報の如く七日午後五時小幡公使は我が提案を外交部に致し顏外交總長に之を手交したり今其內容を仄聞するに要領左の如し

一、膠州灣租借權及中立地帶に對する權利を支那に還附す
二、租借地は全部外國人の居留及び商業のため支那自ら之を開放する事右實行の場合は專管居留地及び共同居留地を撤廢すべし
三、租借地に於ける事業經濟上の特權は之を凡て拋棄す
四、山東鐵道沿線附屬の鑛山は日支合辨事業とす
五、青島稅關は獨乙の租借時代以來支那稅關たる事を明かにす
六、山東鐵道沿線は凡て之を新借款團に引き渡す事
七、山東鐵道沿線撤兵は支那巡警隊の組織成ると同時に實行す
八、山東省租借地は外國商業及び貿易のため商埠地にする事等なり

虫の好い支那政府

【北京八日發電】八日閣會の閣議に於て山東の無條件還附は之を承諾するも其他の條件は考慮するの必要なしと決定し右に基き回答すべしと傳へらるゝが、愈日本に對し回答を發する迄には尙日時を要すべし

ツールン軍港を商港に

【巴里七日發電】海軍々港ツールンは公式に承認され引渡し條件によりては貿易港となるべし卽ち右引渡し條件はレピドミルオ港及び海軍工廠を商業上の目的に限り使用するを條件として商業會議所に引渡すと規定せるものなり

支那聯省自治を採用

【北京十八日發電】北京政府は地方分權主義により聯省自治を採用するに決定し曹錕、張作霖、吳佩孚三巡閱使の同意を求め三巡閱使の同意あり次第右に關する宣言を宣布すべく宣言書は既に脫稿したり

軍備會議結果悲觀論の 責は大統領にあり

【倫敦七日發電】米國に於ける多數の有力なる政治家等は軍備制限會議の結果を見越し漸次悲觀論に傾きつゝあり民主黨全國委員會部長リチャード、リンシカム氏は昨日一聲明書を發し其決論に曰く若し刻々增大しつゝある悲觀說にして理由あるものならば其の責は當然徒らに會議の範圍を擴張したるハーヂング氏に歸せらるべしと

南軍敗因と英國軍艦

【東京電報】某所着電長沙方面に於て英國軍艦が北軍援助の爲め南軍を砲擊したりとの理由を以て排英の風聞起り漢口の民黨の諸新聞は南軍敗北の主因は英國軍艦が北軍を援助する爲なりと論じ之に對し英國漢口總領事は抗議し英艦は北軍を援助するものに非ず南軍が英國商船を射擊する爲之が防禦上已むを得ず射せりとの辯解を述べたり

省線聯絡片道乘車券 滿鐵にて發賣

【哈爾賓八日發電】南滿鐵道會社にては今回萬國寢臺……代理店をして長春驛發鐵道省所有線東京、橫濱、京都、名古屋、長崎に至る相互間片道乘車券を發賣せしむ……結せり尙直通乘車券取扱ひ手續はトーマス、クック……し乘車取扱ひ手續に準じて取り扱はしむる事とせ……

憲政會內輪揉

【東京電報】憲政會は議會ある毎に綱紀肅正を唱へ其他の問題を提し來りて熱心に政局打破を試みんとするも事凡て意の如くならず之に反し政府は自ら着々步太平洋會議の難局に處すべく努むる所あり憲政會にては此機に乘じ政局打破の策を講ぜざるべからずとし居ろ……輙に同黨內の……れ同黨の中……少壯……はざるは……幹部……の罪……會に……迎……

限し却て自ら好んで大事件の惹起を誘發するの愚を擧び併も政友會內閣を攻擊するのみにて自ら何等時局に處すべき

主義政策

を有せざるの罪を天下に暴露したるのみが折角の官紀問題の如き政局打開けの好題目も更に之を活用するの策を樹てず徒らに傍觀をして名を成さしむるの愚に甘んじつゝあるは幹部の無能に歸すとなし同時に加藤總裁に對する不信も言外に含まれ居れば近く一悶着勃發は止むべからざる形勢なりと某消息通は語れり

公正會協議

【東京電報】貴族院公正會にては九日午前十時寺倶樂部に於て勞働問題調査委員會を開き其後の休暇中各委員の調査研究したる報告に基き協議したり猶十日は太平洋會議特別委員會外政務調査第六分科(殖民地)部會を開きて協議する由なり

安東金融活況

……

國分次官靈前弔詞

大正十年九月七日李王職次官從三位勳一等國分象太郎君溘然として病みて薨ず聽哀戚

君は長崎縣士族國分建見氏の長子にして文久二年八月五日を以て對馬嚴原に生る幼にして穎悟擧止群を絕ち嶄然頭角を露し神童の名高し明治十二年八月稽古通詞を命ぜられ釜山領事館在勤す之を官途に就くの始めとす

翌年八月朝鮮語學生を命ぜられ東京外國語學校に入學又十五年十二月通譯を命ぜられ十七年十月書記心得を以て朝鮮京城領事館在勤通譯官を命ぜられ爾來累進して公使館三等書記官に任じ中途米國在勤を命ぜらる卅七年三月樞密院議長侯爵伊藤博文韓國に派遣せらるゝや其隨行を命ぜられ外交の樞機に參し樽俎折衝の通譯に任じ克く彼我の意志を疏通す三十九年一月統監府書記官に任じ統監秘書官を兼任す亦以て伊藤統監の信任其篤きを見る可きなり

四十二年十二月併合後朝鮮總督府人事局長兼中樞院書記官長に任じ大正四年四月李王職事務官に任じ是より專心力を王家に効す六年一月李王職次官に任ぜられ內外の事に鞅掌す九月五日偶病に罹り明治町の官邸に靜養す危篤の報天聽に達するや從三位に敍し旭日大綬章を授け賜ふ 聖上皇后兩陛下優渥なる聖旨を傳へしめ且つ物を賜ひて其病を訪はしめ給ふ七日復起たず終に薨ず年六十 聖上特に勅使を遣はし幣帛を賜ふ死して餘榮ありと謂ふべし

君資性溫厚篤實其人に接するや城府を設けず貴賤長幼を別つなし而して四十餘年間其一身を朝鮮に捧げられ李太王大故の際及王世子成婚の時の如きは寢食を忘れ一身を賭して其事に任じ以て今日あるを致せり王家の事尙君の力に待つもの尠しとせず然るに今や幽明境を異にして復相見ゆるを得ざらしむ天道果して是耶非耶情を遡りて復言ふ所を知らず嗚呼悲哉李王職員一同に代り蕪辭を陳ぶ以て弔詞と爲す在天の英靈庶幾くば髣髴として來り饗けよ

大正十年九月九日

李王職長官 從四位勳一等 男爵 李載克

內地に於ける 朝鮮事情紹介

東京麴町區東洋協會に於ては本年三月より活動寫眞を以て朝鮮及間島事情を各府縣に紹介しある狀況は既報の通りなるが本日迄の開催個所は七十五箇所觀覽者約十五萬人配付せし宣傳書の數又七萬枚に達せり七月下旬以降に於ける主なる開催地を擧ぐれば七月十三日より拓殖大學長野縣人學生と共に同月二十日迄前後七箇所約一萬八千人に對し映寫觀覽せしめたるが同地方は海外移民の旺盛なる土地柄に加へ縣人學生の講演、教育會、青年會及地方新聞社の後援ありたるを以て到る處

好人氣を

博し各所とも盛況を呈せり引續き山形縣主催の下に山形市に於ては三日間五ヶ所にて映寫し觀覽約六千人和歌山市に於ては二日間晝夜六回開催入場者約一萬人、姬路市に於ては一回四千人、佐賀縣下に於ては五日間五ヶ所に於て約六千人、八月一日より三日間大阪市內に於て四ヶ所約五千人、八月四日より二日間京都市內に於て三ヶ所入場者約三千人、八月十一日より七日間新潟縣高田市外六ヶ所に於て映寫し其の他千葉、神奈川縣下に於ても開催したる由なるが何れも盛況を極め開會前既に滿員立錐の餘地なく爲に入場を謝絕せし箇所少からざりしと

哈爾賓支那豪商の 大連商業視察

【長春八日發電】哈爾賓に於ける豪商支那人十五名は七日來春同夕五時五分發大連に赴きたり右は商業視察の目的を有するものにして場合によりては日本內地へも赴くべしと

總督光州視察

【光州電報】齋藤總督は八日午前十一時光州著道廳に於て官民數十名を一々接見挨拶の上當地の日鮮有志より高等普通學校錦江橋の外二、三の要求に付き問答あり午後七時知事官舍にて總督は二十名の官民を招待して晩餐懇談の上九日午前七時……

牛江孝之助氏の 社會事業講演

朝鮮社會事業研究會にては來る十六日より向ふ十二日間大連に於て開催せらるべき滿鐵主催社會事業講習會列席の途次八日入城せる內務省囑託牛江孝之助氏を招聘し同日午後八時卅分より南山町赤十字社本部に於て社會事業に關する講話會を開催せり來會者約六十名氏は定評ある雄辯を以て貧の如何に怖るべきか又貧民を生むものは……陷なりと喝破し其……設の必要なるを……のヒントを與へたる……會員相互の意見交換あり散會せり因に總督府……務官、矢島社會課長、半……書課長、時實內務局長、飛……京城府澤村第一課長、富永……務官、木村調査主任其他……四郞、荻野和光教團主、……武惠、平山牧場主、山名善來、……中村健太郎等の諸氏は講話會開前卽ち同日午後七時頃牛江氏を朝鮮ホテルに招待し一場の歡迎宴を設けたり

黑木鑛業課長談 登錄期間短縮

這般總督府の鑛業登錄期間が從來の三十日が十日に短縮されたので一般鑛業家は非常に不便を感じ中にはとても期間內には手續を爲し能はぬ向もあり少からず弱つて居るので朝鮮鑛業會では當業者苦痛の實狀を述べ且つ當局の意向をも確むる事となり、同會津田鍛雄、中川淺の兩理事黑木鑛務課長に面會した陳情する處があつたが右に就き黑木課長は曰く

鑛業沈衰の際であるから我々は成るべく鑛業家の利便如何を充分考慮して居る併し處理の停滯が今尙八千件以上に及んで居る若し今日の儘で處理し居るならば今後全部の處理に三年位は要す故に斯業擡頭新出願續出の際に於て全く手の附け樣も無い狀態に立到るかも別らない旁 如上件數は此際急速處理を要する夫れで差當り登錄期間の短縮より外に適當な方法が案出されぬので鑛業家一時の不便は察知して居たにも拘らず之を短縮したのであるが實施後ドシ〳〵處理が進んで居る、短縮の目的以上の如くであるから素より長く之を以て當業者に臨むの考へは有つて居らぬ遠からず(多分三ヶ月位を經過せば)再び元の期間に復せしめ得るであらう、全般から云へば臨機の處置として期間短縮は鑛業家にも……だと思ふから鑛業家は能く趣旨を諒とし登錄修正命令等に對しては成るべく迅速に書類を提出して手續を濟まして貰ひたい云々

公立普通學校の 十一年度經費豫算

京畿道學校費大正十一年度歲入歲出豫算(朝鮮兒童を收容する公立普通學校の經常豫算)は左の如し

歲入合計百五十萬八千九百二十七圓也內經常部七十六萬三千四十七圓にして臨時部七十八萬五千八百七十三圓なり歲出合計百五十四萬八千九百二十圓也內經常部七十九萬三千四百九十七圓にして臨時部七十五萬五千四百廿三圓なり右の內京城府のみの歲入歲出豫算を示せば左の如し

歲入合計

七十萬三百二十圓也內經常部二十七萬六千百九十五圓にして此內譯基本財產收入百十二圓授業料一萬六千三百四十一圓督促手數料一千百六十八圓雜收入一千六十[illegible]賦課金二十五萬七千六百六圓此細別家屋稅五萬九千八百二十四圓地稅附加五萬七千七百八十二圓戶別割十四萬圓なり臨時部四十二萬三千五百二十五圓にして此內譯繰越金一千圓地方費補助十二萬二千百圓寄附金十圓學校費財三十萬圓其他收入四百十五圓なり

歲出合計

七十萬三百二十圓也內經常部十七萬八千五百十三圓にして此內譯給料九萬三千六百七十二圓旅費二千五百十五圓雜給二萬六千八十三圓備品費一萬二十一圓消耗品費七千七百二十六圓通信運搬費一千六百二十四圓雜費一千九百三十九圓以上は普通學校費なり外に退職給與金三十圓財產管理費基本財產費百六十五圓又學校費取扱費として雜給五千二百圓雜費八百五圓府面交付金四千九百九十八圓國庫金七百三十八圓獎學校費四千四十圓諸賦課金徵收費一千百四十七圓修繕費八千四百八十四圓其他支出二百七十五圓豫備費九千五十五圓なり

臨時部

五十二萬一千八百七圓にして此內譯校舍建築費五十一萬一千四百二十五圓校舍建築積立金三百八十二圓學校債費一萬圓なり

(因に京城府內公立普通學校數は十三校なり)

永井柳太郎氏に質す【下】

朝鮮は植民地に非ずといふ見解から

長野直彥

一、朝鮮が將來如何に成らうとも現在は植民地であると斷じ得るならば永井氏の植民論に書かれたる植民の定義は曖昧になる、何故なれば永井氏は『本國』なる語に『國民の鄕土』といふ意味の註釋を加へて居られるが若し朝鮮を特別の法域として統治さる、現在は植民地であると斷じ得るならば將來內地と同一の法域として統治さるゝに至つたら朝鮮は植民地で無くなつて而して何に成るか、朝鮮が本國(日本人本來の國土)化する譯でもあるまい原來植民學なるものは植民運動の研究である、植民地なるもの、定義を下すには少くも植民運動の全般に亙つて共通なる其特質、特徵乃至特殊の事情を究めて之れを領土なる觀念と結合させねばならぬ、然るに單に一國の領土又は準領土に對する統治策の目的の發現に見て『現在特別の法域として統治されつゝあるから』と斷ぜんとする定義を下す者ありとも何人も之を認むるに躊躇せざるを得まい、永井氏は學者として之を認めよと世人に强要されるであらうか

一、朝鮮は現在特別の法域であると見て宜しい、然し一般の植民地と異なり特別の法域たることを原則とするものでは無い[illegible]統治上一時の便宜に從へるものである、現在將來の問題では無い、一般の植民地とは原則を異にするのである、永井氏も是は閑却することは出來まい、

一、永井氏の言に從へば朝鮮は植民地の定義に適合して居るさうだ、而して其定義は『植民政策學者が各國の特別法域に共通した社會的特質から歸納して科學的に下したもの』であるさうな、成程過渡期を意味する特別法域たる朝鮮に於て諸多の特別法域に共通なる社會的特質を發見しうることは無い、併しながら何國にか、植民地の土人が其本國に移住せる場合に本國民と同樣に公權を附與する例があるか、前に衆議院議員選擧の際、大阪に在住せる一朝鮮人は選擧權を行使したる事實がある、斯の如き事情の下に置かれたる朝鮮人と移住內地人の組成せる社會は恐らくは所謂植民政策學者の考慮に加へらるゝこと無しに植民地の定義は下されたるものであらうと僕は信ずる

總體學術なるものは一言にして盡さば事實から歸納して理論を案め、理論を演繹して事實に到る迄の研究の總稱である筈だ『植民政策學者が斯く定義を下して居るから』とて强て朝鮮の外觀に類似點を案め其眞相を捨象すると無しに植民地と呼ばねばならぬ理由は無からうと思ふ

尙僕は植民政策を科學として研究するのに一國の領土中、甲の地域を植民地と爲し乙の地域を本國と呼ぶべしとする理論上の根據を、單に既に植民地と決定せるもの、統治狀態に訪ねて之を發見せんとするのは現在植民地の定義が研究者の間に於てすら區々一定せざる所以ではあるまいかと思ひ、一國の政狀、民情、領土獲得又は編入の事情等は是非とも考慮に加ふるの必要があらうとも思ふ、而して更に歷史に徵するに一國が或地域を其領土に編入したる場合、其新領土との距離の如きは植民地の定義を下すに當つて看過すべからざる史實を提供して居ると思ふ、

之を要するに僕は一部研究者の間に承認された植民地の定義を以て朝鮮に擬するのは其當を得ないと信ずるものである學者で無くとも植民政策に關する著述の三冊や五冊讀めぬこともない僕の敍上の意見は僕の頭腦から湧出した常識論では無い。永井氏御自身の著書も僕の意見の一部を作して居ることを明言して而して永井氏の學者らしき御議論を承はりたいのである。

序にお尋ねしたいことがある永井氏は『移住者の永住の決心の有無が植民地の定義の要素である』といふ意味のことを中島君が書かれたるに對し(中島君が書いたことは御承知あるまいが其言葉を聞かれたものであらうと)最早古臭い學說として顧みられないと言はれたが、此の『永住の決心』は永井氏の定義に『……本國と文化的目的を同うする新社會の建設……』とあるのと因果關係を爲すものでは無いか無理解な御連中は其樣なことはお氣がつかれぬか知らぬが永井氏は御了解のこと、思ふ、然るに何故古臭いなどゝ抑せらるゝや。

【編輯子曰く是非といふ御依賴により今回に限りて揭載することゝせり】

現代都市の理想【二】

京城市民は南山を征服せよ

……於講演會席上……

佐野工學博士演說

敍上の如く全國各都市に於る人口は凄じき勢ひを以て膨脹しつゝあり就中大都市の成長は速度が極め迅速である、明治二十六年の交にありては人口十萬以上の都市は我國に十ヶ所を有するのみであつた、然るに現在に於ては既に十六ヶ所の多數に上り又將に廿ヶ所を突破せんとしつゝある、而も東京、大阪の如きは明治初年の頃と比較し今や

四倍大の

人口を集中し擁擠するに至つてゐる、事情斯の如き趨勢なるを以て一部識者の間にありては都市の膨大する反面に農村の荒廢を如何せんなど農村挽回論を持出すものができた、しかし夫れは全く杞憂である、現に歐米列國の如きも曾ては全人口の八割內外は村落が之を擁擁して居たのである、それが現今ではどうであるか、全く逆轉して

七割內外

は都市が之を占むることになつて來た、殊に最も科學の進步せる彼の英國の如きは村落二都市八と云ふ夫の如き人口の割合を示して來たけれど農村は決して荒廢せず却て益々發展しつゝある、私は日本の現在農村を如何にすべきかと云ふよりも都會を如何に改造すべきかが焦眉の問題であると思ふそして都市人口の集中を憂ふることなく寧ろ之を誘致するの方途を講じなければならぬと考へる、

一部識者

の間には佛國の總ての人口は總て巴里市の所有たらんなど取り越し苦勞する者もあつた又一都市の膨脹を恐へて市街の周圍に一線を劃し夫れ以上の發展を制限しやうとした者もあつたが結局此等の策は失敗に歸した、卽ち一劃線內の市街は忽ち不合理なる密集となり遂に挽回の策に苦しむ結果を齎した、都市人口の集中を妨ぐるは

猶大流の

赴く所に堰堤を築くと同じ事である、決して良好なる結果を來さない、英國に於て例の田園都市を提唱したのは有名なハワード其人であつたが此れも人口の都會集中を怖れた結果で大都市の附近に新市街を造り其の擁擠すべき人口を五萬人以內と制限し市の中央から順序を設けて商業區域住宅區域工業區域とすると云ふのであるが然し此等の新企劃も要するに一時的方策に過ぎない

人類の生

息し集まらんとする所に五萬人以內なぞと制限すべきか否か甚だ疑問たるを失はない、苟くも商工業の發展を期せんとならば先づ其の最大要件なる人口集中を圖るべきである然るに人口の集中する所には自ら商工業の發展を誘致し商工業の發展する所には又自ら人口を集中する、從つて商工業と人口は離れ得ぬ因果關係を有してるのだ、双鑼其の一を取れば他は用を爲さぬ卽ち考ふべき問題たる所以である(未完)

滿洲に於ける 水田事業と鮮人保護【二】

細井肇氏談

大正七年十一月に滿鐵地方部地方課で刊行した農政私案の中に滿洲農家の生活費を對照したものがある、無論今日では物價も騰貴して三四割方は費用も嵩むであらうが、滿洲に於ける小作農の生活狀態を知る一端にならうかと思ふ、夫れに依ると

滿洲農民

の生活費一人當り年額は小農が十九圓八十錢三厘、中農二十二圓六十錢二厘(但し貨幣は日本金貨を標準にして滿洲銀元を一、三五の割で換算したもの)である、試みに生活の內容を解說すると

	小農(圓)	中農(圓)
食料費	一四、〇〇五	一五、四二六
服裝費	二、〇〇〇	二、五六三
薪炭油費	二、三〇〇	三、一三〇
雜費	八九	一、一四〇
教育費	……	四二
計	一九、八〇三	二三、六三三

である小農の主食物は一人一日玉蜀黍五合五勺弱(年二石〇〇〇)粟一合九勺強(年〇石七〇〇)で一日の食費は三錢五厘七毛副食物費は僅か菜ッ葉で一人一日四厘餘りに過ぎぬ、とある、尙高粱を主食物とする地方もあるが高粱の生育の惡い土地では玉蜀黍と粟を併用する、粟は炊くと嵩が殖えて高粱よりも經濟的だが直に空腹になる之に反し高粱は多少不經濟ではあるが喉も甘美だし腹ごたへがあるとは

一般農民

の語る所である、高粱と粟を併用するものは普通高粱二回粟一回の割合で多くは夕食に粟飯を用ひる、冬期は大抵二食で、三食は夏期に限る、最も收穫時には四回食事を攝ることもある。

以上は滿洲に於ける一般農民の生活狀態であるが、移住鮮農の生活狀態も之に依つて略推想が可能ると思ふ、所くの如き生活でなくして饑に死せざる境遇と云つた方が適當だと思ふ、然るに

移住鮮農

は、此の儘に死せざる境遇をすら許されない滿洲に於ては四五年目に一回は必ず凶荒が來る。之は殆ど實例であるが、昨年のやうに奉天附近の凶荒に際しては新民二縣丈けで餓死者三萬を數へ其の狀況の悲慘を極めた事は今尙世人の記憶に新なる所であらうと思ふ(未完)

江原牛疫豫防

牛疫豫防の爲め當分の內江原道平康郡縣內面、木田面、高揷面、同鐵原郡東松面、葛末面、咸鏡南道安邊郡瑞花面に於ける牛、羊、山羊及豕の出入又は屍體、牛肉、皮、角、骨蹄其の他病毒傳播の疑ひある物件の運搬を停止する事となれり

三委員來城

朝鮮臨時產業調査委員を委囑されたる住友代表鈴木馬左也、三菱代表木村久壽彌太及井上角五郎の三氏は右產業調査委員會に出席する事に確定し近日來城の旨東拓に入電ありたり

工藤宇野兩氏入城

九月十一日經學院文廟秋季釋奠に附き宮中顧問官工藤一記、東京帝國大學教授文學博士宇野哲人の兩氏參列の爲め九日午後八時南大門驛着列車にて入城朝鮮ホテルに投宿すべし

小野興銀副總裁

日本興業銀行副總裁小野榮二郎氏一行三名は十九日朝新義州通過同夕七時南大門驛着列車にて入城の豫定なり

總監生江氏招宴

水野政務總監は九日午後七時半より官邸に晚餐會を催し內務省囑託生江孝之氏を招待すべし

牛井課長洋行內定

總督府庶務部文書課長兼學務局宗教課長牛井清氏は近く海外出張を命ぜらるゝ事に內定せるが出發日時は尙未定なりと

安藤氏歸朝

總督府事務官安藤直夫氏は昨年出張して歐米各國へ出張中なりしが八月神戶へ歸著近く歸任の旨總督府に通知來れり

湖南行【九】

三笑生

忠南と金知事

忠南道は、所謂兩班の根據地とも云ふべき處です。或は巢窟とも云ひます。之は古來朝鮮で、國家の棟梁となつた大人物が、大抵此忠南道の出身であつたからです。否忠南道には、其の子孫が、到る處に擴居して、儒學仕込みの頭の固陋な兩班連も多いやうですが、また一面には一種他に見ることの出來ぬ美風が、家庭の裡に殘つてゐます。兩班は頭が中々に堅いのです。隨つて何事に依らず、是非曲直の辨別もなく附和雷同するやうなことはありません。忠南道の兩班で、非常に入欲してゐるもの、少いのを見ても略其間の消息を知ることが出來ませう。今日までは、悪に頑固な人が多いので時世遲れの謗を免れぬかも知れませんが、一端に……

人事消息

▲宇野哲人氏(帝大教授文學博士)九日朝上陸十時にて入城
▲工藤一記氏(帝大教授)同上
▲北田正一郎氏(辯護士)既報用件にて奉天に出張中の處本日歸城
▲岡本正夫氏(新任釜山地方法院長)赴任途中八日午後七時二十分着 山本旅館へ
▲米國教育視察團パードン氏一行十五名八日夜入京朝鮮ホテルへ
▲宮脇正吉氏(東京大倉組社員)八日夜入城朝鮮ホテルへ
▲森田樹男氏 九日朝退城

茶話

東洋の持論は三井物產が委託販賣を引き受けて綿布を倫敦の支店で世界的の取引を遂つてゐる▲エム君は其當時の爲め紐育にも倫敦にも數年間出張してゐた▲倫敦にゐたのは丁度戰爭の最中で、獨逸から襲來する飛行船飛行機に嚇かされて市民は皆頭を縮めて穽まで潛めてゐた▲飛行機は佛國で飛行船は獨逸で發達したもので英國では戰爭前まで殆ど見る影もない樣であつた、その爲め戰爭になつて飛行機に關する英國の周章かたは亦格別であつて泥繩を見て繩を綯ふといふ諺を文句通りに遣つてゐた、智識も足らず經驗も不慣な爲め犧牲となる人の數は非常なものであつた、エム君は舊い新聞に見る、飛行機の墜落、操縱者慘死の報の餘りに多い所から試みに一週間ほど手帳に控へて見ると一日平均十人以上に達した、エム君は言ふ、日本では飛行機に就て犧牲の拂方がまだ不足である▲丁度此頃ロイド、ジョウヂが『[illegible]』といふ風の題で演說をすることが發表せられて非常な評判であつた。[illegible]エム君は[illegible]會場の前に行つた[illegible]入口にかけて長蛇の列を作つて居た、エム君は[illegible]列に入つて[illegible]進んで行つた、入口では[illegible]入場券を[illegible]高く差上げて見せて[illegible]通過したが座席の前に來て[illegible]係の者は丁寧に[illegible]案內した。

連絡船上陸客

○八日朝入港高麗丸乘客 [illegible]

▲天草丸 [illegible]

【安東縣】…航海缺乏木足を…初旬以降の金融狀況を聞くに…告ぐる位なれば多期に入ても相…經綸は各工場共既に原料調…を消…端の取引あるべしとの見込なり…甦し盡く現物の減退と共に殆ど…隨つて木材の僞替は頗る殷盛を…と取引の見るべきものなし木材…極めつゝあり次に特產物たる豆…約六七萬の手合せあり今後…期までには約四十萬枚位の商談…ある見込なれば此方面の資金も…非常に忙はしく一般に好況に向…ひつゝあり近頃亦安東縣よりは…鴨綠江より直接又は汽船便にて…釜山より帆船にて內…ものも漸く多く最…萬俵以上の商談ありたるが…今後冬期に向ふに隨ひ益增加…多忙の方と云ふべし尙ほ安東…の各銀行は朝鮮銀行の利子引下…に伴ひ本月中旬頃より更に二…厘方の引下げを見るべしと

…夜は日々多數の到著あり支那筏…は去八日まで八千八百臺に達し…今後更に三百臺以上の到著ある見込又同公司の直營にかゝる日…まで五百臺の多數に…

問題は益々眞劍

平壤家主橫暴事件　生活の安定を脅威された丈に『是非輿論に訴へん』…と借家人の鼻息は飽く迄も荒い

【平壤】本紙が一度び掲げられた店子と題し平壤大和町十六番地十八戶に對し壽町吉田與市が家賃不當値上要求したる事實を報道するや

弱者に對し同情を表する人々は

八日朝來交々本社支局を訪ひ與田延之助吉田與市等は過去に於て斯く〳〵の不法行爲ありと述べ中には煎湯を呑まされ今猶痛手を受けて困窮してゐると悲憤の淚を流して訴へるもあり或は又近く來る可き商業會議所議員の改選に際して市民を唇たぐるが如き人物は絕對に出さゞるやう監視の要ありなど

問題以外の事に

迄言及するもの

あり本紙は敢て與田吉田脇阪等の過去に於ける行爲を今更紙上に發表するの要無く問題は單に家賃倍額の催告狀を發し剩さへ現在家賃の十倍の敷金を要求したる家主と生活の安定を脅かされつゝある弱者あるとの事實を報道し讀者に對し公正なる批判を求め世相の一般を觀察せんとするにあるのみ。支局は八日午前八時より是等の訪客に對し應接に遑無く漸く一人辭去せる後より問題の人與田延之助氏の來訪を受けたり同氏は事實相違の旨百方辯疏する處あり、紳士としての與田氏の言を信用し先づ其談を左に掲ぐ

るのみにて家賃倍額現在家賃の十倍の敷金を要求するは惡乎亂乎狂乎と迄其不法行爲に憤慨し是を機會に惡家主の反省を求むべく公開演說大會を催さんと企て居れり兎に角問題は生活上の安定を脅かす事だけに關係者は何れも眞劍の態度を執り至る處この話題にて持切りなり

甚だ迷惑至極

吉田が私の名を濫用したのだと與田延之助氏語る

家賃不當値上問題に關して何か私が其の裡面に介在してゐるやうに貴紙に記されてありますが事實は全く相違して居ります、平壤銀行の小切手額面五千圓を私が手附として振出し脇阪喜之助に渡したやうにありますがあれは銀行で御調査になつても分明する通り

漢城銀行大和町支店の小切手で

吉田が發行し脇阪に渡したものです、吉田とは從來同鄕の關係もあるものですから約束手形の裏書をしてやつた事もあり或は其他種々援助した事がある關係上今回の事件にも私が裏面に介在して吉田を操縱してゐるやうに誤解されたのでせう。吉田は元農工銀行の小使で小金を貯め後小使を辭して高利貸やブローカーなどをして相當に蓄財しました今回の家屋讓り受けでも五千圓を吉田に分けて支拂ふ約束で脇阪と交涉を進めた者で何も私が後援せずとも其位の金は吉田が假令一小なるブローカーでも容易に出來ます吉田は御存知でもありませうが狐を馬に乘せたやうな性格の男で何の思慮分別も無くパツ〳〵と云ふ風がありますから今回の事件にも

私の信用を利用し勝手に私の名

を濫用したものと思はれます吉田も私の迷惑を察し各新聞に廣告しても貴方が此問題に關係の全く無い事を立證すると云つて居ります、私は明治三十八年から平壤に在住し多少なりとも公共事業に盡し今後も大に平壤の爲貢獻したいと思つて居る矢先商業會議所副會頭の名迄出されると非常に迷惑します、現に近く總督府と交涉したい要件があつて京城に出たいと思つて居ますが、此麼事が新聞に出されると痛くない腹迄探られるやうで困ります、私は

金融組合の組長をしてゐる關係

上或る人に金を貸出さなかつた事もあり近頃株で若干儲けた爲め嫉妬的になつたり又現株問題や其他より可なりの敵を有してゐますから夫れ等の人達が故意に私の信用を傷ける可く種々な流言を放つて中傷するのでせう私の不德の致す處とは云へ併し今回の問題には全く關係の無い事を言明します云々

死活問題なりとて

公開演說開かれん

平壤は此の問題で持ち切り一方店子中有志は何れも自分の死活問題なりとし、鮮銀支店、東拓支店等を歷訪し、奧田吉田等に貸出す際は其の用途を聞き萬一大和町十六番地の家屋讓り受けに使用する際は謝絕されたしと懇談し鮮銀東拓にても諒とする處あり一方吉田等の一味は是れ實に營業妨害なり、告訴すべしと敦圍き居れる由、又この間の眞相を觀破せる人々は更に如何にしようかと云ふ有樣で吉田が脇阪より該家屋讓り受けの約束をなし

未だ名義變更の書換を履行せず

して單に手附金五千圓を交附せる…

水產品評會開催

―注意事項要領―

【春川】江原道水產品評會は去る大正五年開催以來中止せられ居りしが斯業の發展に伴ひ本年十一月三日より向ふ五日間高城郡長箭港公立普通學校內に於て沿海六郡及朝鮮水產組合江原道支部聯合の下に開催することゝなり地方費及朝鮮水產組合より相當の補助を支出し盛大に開催し出品物は廣く朝鮮全道其他に之を勸誘する由其注意書左の如し

注意書

一、本會は江原道沿岸六郡及朝鮮水產組合江原道支部聯合して開催し會費の一部を本道地方費及朝鮮水產組合江原道支部より補助すべきに付申請を爲すこと
但申請前には會用經費收支豫算、褒賞、會場配置圖等を添付すること

二、聯合各郡は相當經費の負擔額を協定すること勿論本會開催に關する諸般の協議は直接主催郡と照覆すべきこと

三、本會の事務所は開催地郡廳內に置く

四、會長は主催地の郡守事務員は關係郡職員に囑託し其の內一名を以て事務長に充つること

五、副會長は朝鮮水產組合江原道支部長及會長に於て囑託すること

六、審查長は本府より派遣を請ひ審查員は道郡に於て指定すること

七、出品は別記品評會々則に依り其の種類及數量を參酌し極力勸誘すること

八、出品漁具は該地方に使用する網類にして効果あるもの又は改良の考案を加へたるもの若は出品地方の漁況及漁場の有樣を表はすことを…

九、漁具製作原料及餌料の出品に就ては左記事項を注意すること

▲網具原料　網、網具は其の使用する目的に依り原料の品質を異にし浮子沈子は其の運用の便否に關係を有するを以て原料種類及其の製作法を詳にすること▲釣具原料　釣鈎、釣竿等は其の使用の目的に依り原質の殷鈎製作法の差異あるを以て其の原料、類及製作法等を詳にすること、餌料及撒餌に依り又は魚族、種類に依り其の原質及採取の方法等を異にするを以て詳細の說明を付し出品せしむること

十、漁船は釣漁網漁海豚捕等其他使用の目的に依り船體の形狀構造帆裝等を異にするを以て其の關係解說模形等の出品には必ず說明を付せしむること

十一、塗料の出品は可成其の原料使用方法並使用の成績保存方法等を添付し其の便否を知らしむること

十二、水產製造物の出品に就ては左の各項注意すること

▲食用品　食用品は內外兩國の需用に供すべき重要品及產額少しとするも將來有望のものは多數出品せしむること▲肥料　肥料は農業上缺くべからざる要品にして農事進步と共に品質の改良を要すべきを以て其の效用を完からしむること▲食鹽　鹽田構造製鹽法及需用の狀況を詳にし出品せしむること

十三、賞品は記念と爲すべきものにして且つ可成水產上の用に適するものを選定すること

十四、聯合郡各面より其物會員を囑託し管內に於ける出品の勸誘並取締の事務に當らしむること

長承浦盛漁期

【長承浦】巨濟島長承浦を根據とせる鰤網漁業者は目下出漁準備中であるが本月十日頃より二十一日頃までに全部の網卸を終り直に大活躍を試みる段取である本秋は流行病もなく且つ昨今の好天氣こて漁業者は非常に期待してゐる矢先魚群出見ゆとの報に接し勇氣百倍各腕に撚をかけて時の到るを待ち構へてゐる

厚昌の初霜

【新義州】平北厚昌地方は去月二十六日夜來氣溫俄に低下し二十七八兩日朝薄霜ありたる由之れ本年の初霜にて昨年より二十一日間早し

窮した營農鮮人

奉天附近だけでも三千名　救濟の方途、果して如何

【奉天】本年の降雨は奉天地方の水田經營の鮮人に多大の損害を與へたのは屢報の通りであるが、殊に新民縣中尤も奉天に關係の深い地方で

鮮人の經營

してゐる水田が約六千天地此內西方五家子附近から以西が三千天地此の經營鮮人が三千名と註せられてゐるが、是れだけの水田が全滅と來たから三千名の鮮人は困窮其極に達し今日既に食ふに食なく寄るに家なき有樣此のまゝで來年の收穫期までは惡か明日か否今日を如何にしようかと云ふ有樣で僅に奉天市街地附近に緣故のある者

二百余名は

奉天に來て僅に糊口を凌いでゐると云ふ狀態である、殘りの三千天地は云ふ是亦相當の被害を蒙つてはゐるが全然望みがない譯ではなく先づ四分作だらうかと云ふ事であるが元來が昨年の旱害を受けてゐるのだから收穫期を眼前に控へて居ながら大に窮してゐるのである、そこで奉天鮮人協會では江上兩氏の救濟案として前者に對しては緣故を求めて

吉林や興京

其他の地方へ職を得べく行くもの及び故鄕へ歸らんとする者へは相當の旅費を支給する事及び依然殘存せんとする者へは協會に於て車二三十輛を購入し其の鬼子溝こして來春迄の自活方法を講ずる事とし後者に對しては東拓の諒解を得て地方農民中に責任者を設け肯貸をして一時の急を救ふ方針をたて、大に盡力して

外務省方面から來る何分の資金と云ふ資金も豫備金支出の事であるから容易に事が運ばないので東拓の諒解を得て不取敢其の資金を引當に資金融通を圖つて貰ふ樣な始末、又一方從來の如く得る端から鮮人に與ふると云ふ事は益々鮮人の惰性を助長する事となるから可成其の性質を矯正する方針を以て進んで居るのである、が最近朝鮮大正親睦會から遂附を受けた約六千圓は此際前者に配與する事に總領事館と協會との間に話は決定した事である

羅州畜產品評會

【光州】全南羅州郡にては十月下旬邑內に於て畜產品評會を開催すべく目下準備中なり

木材連絡輸送

近く實現せん

【安東縣】本年七八月の頃より鴨綠江材の內地輸出旺盛となり朝鮮郵船、天華洋行其他の社外船の出帆毎に相當多數の原木及び製材類を輸出したるが其後大阪東京方面への商談は續々と行はれ汽船輸送のみにては間に合はさる程の盛況を極め居るを以て木材業者は結氷後の輸送杜絕を恐れ京城管理局に對し貨車運輸の運賃低減方を交涉する處ありたるが當局に於ても汽船運送の對抗上默し難く責任荷を定め相當割引する決心付きたるもの、如く近く具體的實現を見るべしと業者の語る處に依れば現在の鴨綠江より大阪迄のチャーター船の運賃は製材一才に付約二錢四五厘見當なるが二錢四五厘に減じ得らるゝ見込なれば今後兩運賃の實現さへ見るに於ては鴨綠江材の內地輸出は非常の盛況を見るべしと

全南棉作會議

【光州】全南道管內棉作會議は八日より十一日迄四日間道廳に於て開會されたるが諮問事項左の如し

一、本年陸地棉の狀況
二、陸地棉栽培上執りたる方法及其成績並に向後特に施設を要すと認むべき事項
三、棉花販賣方法實行に付改善を要すと認むべき事項

因に出席者は道技師一名道技手二名郡技手二十三名棉作主事二十三名なりと

移住戶口增加す

【新義州】八月中に新義州に移住し來れる戶口人數は內地人十戶三十九人△鮮人十七戶七十七人△合計二十七戶百十六人

果して無法決議か

奉取の合併決議に對して松井氏訴訟提起

問題益々紛糾せん

【奉天】去月七日奉天取引所信託株式會社臨時株主總會に於て滿鐵側に於て設立した重要物產取引所信託會社と合併すべき決議をした、此の席上に於て株主たる松井鐵夫氏外兩三名は反對意見を吐露した、けれども多數に無勢で松井氏の說は成立せず葬られて仕舞つた、が其後松井氏は此の決議に對し無法なる決議として法理上から研究の結果遂に在京城の辯護士島田正一郞氏を訴訟代理人として奉取社長宮越正良氏を相手取りて大要左の意味の訴訟を奉天總領事館へ提出した

奉天取引所信託株式會社は八月七日の臨時株主總會に於てなしたる資本減少及び定款變更總會の決議を取消す決議なり商法の規定に反する無効の決議なり依つて其の確認を與へられたし

と云ふにある總領事館は之を正當なる理由あるものとして受理し尙は松井氏の意見としては奉天取引所規定（大正八年十二月廿日第五十五號關東廳令）の第一章第一條の但書中『但し…のみを爲すものとす』とあるにも拘らず七月廿七日付を以て滿鐵側へ重要物產取引所信託會社を認可したのは如何、而かも之れを八月十日…を以て但書廢止を公表したが其の施行期日は來る十月一日よりとある以上は法理上但書の効力を有する以上は重要物產取引は出來ない筈で…其の信託會社の創立を認可し且つ其の信託會社の入つた手落であつて寧ろ奉天取引所信託會社を壓迫するもの、對して吾人が正當に權利を行使するのであるが、此の法理上の問題は何處までも當局を相手として爭ふ覺悟で見る決心である、尙任奉天取引所信託會社長宮越正良氏と奉天地方事務所次席たる島崎好直氏との間に協定されたる合併に關する覺書なるものは滿鐵の定款より見て何等效力のあるものではない外部に對し滿鐵が責任を負ふべき契約に對しては社長の名に於てこそ効であるが一地方事務所の次席では絕對に効力はないのである此の點も亦滿鐵に對し又奉取信に對しても十分注意すべき價値あるものと云はねばならぬ、が然し松井個人としては何等此の問題に對して取るべき方法はない只此の際一方に於て訴訟が通むと共に一般株主と公平なる立場から松井と滿鐵との判斷して貰ひたい一事である云々と云ふにあるらしいで、假に別項の通り殖銀が奉取信の要求通り八日迄に決議を飜したとするも一方此の訴訟提起されてる以上容易に片付かぬものと見て解決せぬ以上…奉取信の合併問題は張つて張られて實現は困難ではあるまいかと思はれる滿鐵側では樂觀してる模樣であるが餘り樂觀し過ぎてはならぬ問題であらう。

元全南知事視察

【光州】元全南道知事は此の程金士木課長等を隨へ南鮮鐵道の起工地松汀里に到り工事の現況並に道路豫定線の視察を爲したり

財務主任會議

【光州】全南各府郡島財務主任會議は來る廿三日より四日間道廳會議室に於て開催さるべしと

金融名譽職員會

【大田】忠南道金融組合聯合會にては十月六日より七日迄管內各村落組合の名譽職員の集會を開催する筈なるが其會場は大田に集合すべき金融組合は連山、論山…

夜の元山（三）

本町と仲町

明い賑かな町になつたが未だ少々物足らぬ

◇數年前迄日が暮れて本町通を通ると店舖は悉く大戶を鎖し街燈が淋しく瞬いてゐるばかり、是が元山の大通りかと疑はれるほど殺風景のものであつたが時世の推移といふものは恐ろしいもので今の本町通りは此の前の面影は全く無い露店を竝べて居る各商店は電燈の應用と陳列の裝飾に苦心し夜の客の眼を樂しませる趣向を凝らすに至つたのである。

◇仲町通りも同樣、背中合せの町筋だけに此傾向は一層著しく賑しい點に於ては本町通りに優つてゐる、先づ商品調べをやつて見ると一番多いのは雜貨屋と菓子舖、それから吳服屋、洋物小間物、雜誌和漢書と數へ立てるのが五月蠅いほど有るやうな商店が櫛比ねてゐる、町幅が狹いだけに少し人出の多い夜なぞは肩が擦れ合ふほどの雜沓を見る。

◇仲町通りには料理屋の三味の音が風のまに〳〵流れて聞こえて來る、それがこの町を逍遙する夜の客の心を唆るほど町の氣分が浮き〳〵した一種の色彩に富んでゐる。京城の旭町、東京の上野廣小路と云つたやうな彩を帶びてゐるので一口に云ふと陽氣な町である、數日前この町筋に新開業した新潟の二階開きに義太夫會を催したが滿員で、義太夫は一寸面白い對照ではあるまいか

◇本町通りから仲町へ入ると華やかな明るいやうな氣がするがこれと反對に仲町から本町へ出ると廢々しい悠然とした氣分を感じる、是は夜に限つたことの二つの町の印象である、仲町の或海にこの奇妙な男の藥賣やが現れて每夜通行者の足を停めさせてゐるが慾を云へば是で京城邊に見るやうな一寸した喰物屋、壽司でも賣る屋臺店でも出るやうになればこの町に一層風情を添ふ事であらう、今では刺身にツマが無いと云つた形（元山支局記者）

安東の船舶出入

…一千百噸を搭載し…各港を經由して…に向け十五日出帆…より以て最近新義州入氣の一…千百噸を搭載し…岸各港を經…航濱に向け十日出帆同成鏡丸…出帆すべし

●朝鮮郵船雄基丸　七日入港五百噸木材雜穀二百五十噸を搭十二日出帆すべし
●…は十日入港豫定、雜穀五百噸を搭載して沿線を經て大阪に向ひ…

愛婦會員募集

【新義州】愛國婦人會朝鮮支部に於ては審さ月る五日をトし支部…て平安北道全部に亙り目下會員の募集中なりと

…北道…の希望あり旁好機會なるを…追加…富田さや…村みや…十二名一等百三十一名三等四百三十五名
○八日夜入港揚雲丸船客一等…三等（三十三名）三等（百十九名）

地方集會

●櫻井博士講演會　九州醫科大學教授櫻井恒次郎博士は來る十二日安東に來る紳士體操の講演及び實地…をなし一泊翌十三日撫順に向ふへし（安東縣）
◎安東懇話會例會　安東懇話會例會を來る十七日頃開催の事に內定！何月番幹事で斡旋中であるが多分同日間に於て月並と洒落るであらうとの事である（安東縣）
◎吉岡氏送別會　安東側の有志は製材會社吉岡氏の送別會を十日午後七時より料亭太陽樓に於て開催（安東縣）

一日午後九時五十分發列車にて奉天撫順方面へ出發二十五日歸校すべし尙ほ尋常六年以下は近郊見學をなすべしと

地方人事

▲上田太郎氏（鎭南浦府尹）八日夜高…丸にて內地へ（釜山）
▲楠常藏氏（元釜山地方法院長）八日夜高麗丸にて神戶に向ふ（釜山）
▲高石新太郎氏（大每主幹）は八日夜高麗丸にて內地へ（釜山）
▲右庄金一氏（地方課長）木浦府事務檢閱中の所七日歸任（木浦）
▲野上本署長　京城滑州へ出張中の所八日歸任（木浦）
▲深川仁川府尹家族　夫人出產の爲め滯木中の所四日朝出發仁川へ（木浦）
▲田村竹治氏（拓殖局長官）南北滿洲及青島北京等を視察後二十八日來新一泊の上廿九日朝出發京城に向ふべしと（新義州）
▲竹內友治郎氏（遞信局長）鴨綠江上流各地を視察後十三日頃來新の筈（新義州）

プッシゴ

【奉天】奉取信が殖銀に對し殖銀の背…は四十萬は餘りに多き見積りだ矢張り二十五萬圓が相當だ▲來る八日迄には是非とも二十五萬圓に減資すべく決議をするがよろしいと頗る强硬なる態度に出た▲成る程行ると云へばあり無いと云へば無いかも知れぬが減資したからとて誰も殖銀の持つてるものを持ち逃げするものはないから幹部も一と思案あつては如何▲今迄殖銀が整理を怠つて置いた結果奉天財界が混乱した責任は決して尠くないと一般は認めてる自身の懷勘定にあれ丈け鋭敏な頭腦が何故此の方面に鈍感なのだらう▲奉取信が硬に出れば直何處やらのお叔父さんが二十五萬位は捨てかゝても仰しやる▲其處で又錢箱に働くから大方奉取信は結局强硬に出た丈けの事で殖銀はお叔父さんの方へ走りはせぬだろうかと睨んでるものが多い

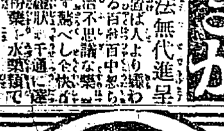
キリン　メ早キ　りん病藥　特製リベール　ルーベリ
うみ、いたみは五日分でとまる
惡性用特製　五日分二円　十三日分五円
輕症用五日分壹円　十日分貳円
送料內地十二錢海外四十五錢
發賣元　九條藥局　大阪市東區…

特效…天籟　東京神田區…天龍商會　電話下谷…振替東京二七一四八番
●一月十一の大好評品フノリは…一反一單物一枚分一錢か五厘で…上る二十反分金十錢送料…用箱百廿枚分五十錢送料…在來のフノリよりは非常に便…で之に優るものなし
●ゴムノリの代用品ともなる
●毛織物に應用せば艶出しにもなる
各地…店荒物雜貨小間物店にあり

此「ふのり」は奇麗で安くて生地が見違へる程美くしくなり升
大好評の
登錄商標　フノリン
せんたく洗濯に洗張あらひはりに
京城本町一丁目…　木村…
…天…丁目　藤田…

月經の聖藥　經球　月經の一番信用のある婦人良藥にして效作用確實なり他の藥にて効なく御困りの方は試用あれ●價二十錢（逕經球六回、十回送料十二錢）郵書は及信料郵票代用可込あれば直送す
東京市四谷區…　森田屋本店　振替東京五二六二五番

月やく

あさか
◆化學新法無代進呈

捨置ば人より嫌はれる百発百中の全治不思議な見すべし全快の證狀千通に達す藥は水藥類で効無お困りの人も彼是と迷はず東京府下淀橋町角筈三小學校正門前東京博愛藥院に新聞名と病名ハガキに書て申込ば秘密に送る

大阪名優來！
我童巖笑荒五郎大一座
京城劇場に於て開演
八日より十二日迄
大優待　クラブデー
クラブ愛用者　優待觀劇券
特等及壹等御買求めの方には
お土產進呈　お土產は
定價金壹圓貳拾錢の
クラブ白粉
クラブ齒磨
クラブ洗粉
クラブ刷白粉
クラブ天瓜粉
カテイ石鹼
詰合箱壹箇宛進呈

腦病良藥　レーベン
レーベンは醫學博士岡田先生を初め醫學諸大家の賞讃を博したる腦病、神經衰弱ヒステリー絕好の良劑なり
一度レーベンを試みたる人は永久レーベンを賞用せらる
先づ其一囘乃至二囘を購ひし人は次に必ず其最も大なるものを求めらる何故か　未だ其人に適合すべき植物性藥にして腦の營養素高貴藥リンサンの多量に含有せる其品質最も優秀にして服用量少くして効力極めて大なればなり、論より證據腦病患者よ早く之を服用し直ぐに思ひ立つた時に買給へ本劑は大黃主劑の下劑にあらず故に服用後の痛せず
容治物能　腦病、神經衰弱、づゝう、めまい、のぼせ、便秘、貧血症、不眠症、ヒステリー、記憶減退、陰萎、遺精、早漏、夢精、房事過度、生殖器病等は皆本病に起因するものなり故に最後の試藥として善は急げ今直に服用あれ
藥價　五十錢（試用分）一圓、二圓、三圓、五圓五十錢の五種あり
無代進呈　ハガキで申込次第本劑の發見者常持醫學士著腦神經衰弱療法及其他增田博士共著精神療法の二冊直ちに送呈す無遠慮申込あれ
全國發賣元
本舖　東京銀座尾張町二ノ二　電話京三〇八番　弘濟藥院　中南定太郎
大阪安土町堺筋　電話本三〇〇七番　弘濟藥院　中南定太郎　振替大阪三四四番

婦人講壇

讀者の相談に接する

當面の責任者として

光永紫潮

本紙では御承知の通り第四面の一部を假りて讀者並びに廣い世の中に種々の問題に差し當つて惱み悶へつゝある人々の爲めに『讀者の相談』なる一欄を設けて之れ等不幸なる人々の御相談に預つてゐます

◇人智の發達に伴ひ世の進運に比例して人間社會は刻一刻一層複雜と繁縟とを加へて參ります、人と人との競爭は生活が逼迫つて來れば來る程人の知識が進んで來れば來る程一層一層の激しさを加へて行きます

◇往昔人口が稀薄で自給自活してゐた頃の人情風俗は著しく篤厚で假令それが一面識もない人でも、現在の窮況を訴ゆれば訴へらるゝ方でも相當に盡力して遣つたものです

◇それが逐日進みゆく社會は一々さうしたことをして居られなくなつた。その結果は近代人のその多くは胸に絡まる憂ひを胸一つに秘めて、心は死んでゐても努めて平靜を裝つて然も可笑くもないのに愛嬌したりして其日を暮らしてゐる樣な人が多い、洵に人情問題の非常なる矛盾撞著ではありますまいか？

◇近代の人は著しく病的に煩悶します、然も訴ふべき所へて親切にその言ふ所を聽き、之に適當な批判を與へ、適當の所置、適宜な策を授けて異れる肉親の父母、兄弟、姉妹親しい友人を有せらるゝ方は幸福な方です、世の中には身を殺すまでの哀感悲愁を身一つに秘めて訴ふるに所もなく自らも施す術を知らず、日毎に惱み悶ゐてゐる方が多いやうに思ふ

◇この煩悶は今後益々增進してゆくことゝ思ひます、その薄幸なる人々の策盡きて施すべき術のない人情上の問題＝結婚、戀愛、新舊思想上の衝突、處世上百般の諸問題に對してその當面の煩悶の理由を聽き、記者で判斷のつくものは記者が最善と信じ、正義であると信ずる所を以て答へ記者よりも以上にその道に詳密なる人ある場合＝例へば法律上の問題、醫學上の問題などにはその人に就て最善の道を質し漸次質問にお答へ致して居ります

◇そして近年來著しく增加して來た人情上の問題に關連して起る犯罪、その他父子若しくは古來犬と猿との中を以て譬へらるゝ嫁姑の關係近年著しく病的になつて來たやうに思惟さるゝ夫婦關係等の起り來る場合、或時には「死」以上の苦惱を強ひ悲觀の結果或は心得違ひをし爲めに一生を薄命に暗く送り又その初期の[illegible]き道に陥らんとしつゝある斷涯に立てる人々の爲めに最善の最も親切な相談相手たらんことを期するのが私の衷心止み難い祈願です、

◇斯うして、逐日處世人情上に匯起して來る病み、疲れ、痛み、嘆き、悶ぎ、相爭ひつゝ喘ぎしつゝある人の世の裏に泣いてゐる弱い可憐な人々の相談相手として唯の一人でも神益する所があれば當任記者の望外の幸福でございます

◇この際各官途の諸君、各教育に係はらるゝ諸君、宗教に關はらるゝ諸氏にも記者の微衷を御酌酌あつて記者のこの重大な責務を御援助下さらんことを一言お賴み致して置き度いと思ひます

鮮魚が一番賣れる

月給生活者が多い故か　次では穀類海産物など

京城府内四ヶ所の公設市場における本年一月から八月末日までの賣揚累計は六十一萬二百一圓で此の内譯は花園町が場所柄第一位で二十一萬四千四百卅一圓次は明治町の十九萬五千三百七十六圓、鐘路十三萬五千六百四十八圓

京町市場は地の利を得ざると値段が市價と格別の差なきため一向振はず正月以來僅に六萬四千七百四十三圓を賣揚げたに過ぎぬ、一番よく賣れる商品は場所によつて異るが八月中の成績を見ると花園町市場では附近に官公吏や其他のサラリーマンが多數居住して居る關係上鮮魚が賣行の大關で五千六百八十七圓を賣上次は穀物の四千七百九十二圓、海産物の三千三百四十二圓、砂糖菓物二千三百圓、生菓野菜二千二百五十圓、漬物二千二百四十八圓の順位で明治町市場も之と略類似し生魚の三千八百三十七圓、牛豚肉の二千五百四十九圓等が主なるものであるが鐘路は主として

鮮人相手の市場だけに多少趣きを異にして穀物の賣上げ高が九千三百四十一圓といふ驚くべき額に達して居るが其の次は獸肉の二千百十六圓位のもので護謨靴や菓子などもよく賣れる。京町市場は前記の如く商内不振で米穀二千五十六圓食料雜貨が千九百二十二圓が其主なるものである。因に

公設市場には從來消火の設備なく隣接住民は常に不安を感じて居たが今回府廳で公設市場内の營業者に各自消火器を設備し萬一に供ふる事となつたが私設市場の商人も德義上消火の設備をして欲しいものである。

愛婦の總會に　下田女史渡鮮

三日午後七時五十分南大門驛著列車で

來る十月五日昌德宮秘苑内に於て開催の愛國婦人會朝鮮本部總會に臨場すべき下田本會長の朝鮮に於ける旅行日程は此程水野本部長上京打合の上大略左の通り決定せりと

下田會長日程

十月一日(土)東京發午後五時二十分
十月二日(日)下關著午後八時五十分連絡船乘船
十月三日(月)釜山著午前九時釜山發午前十時南大門著午後七時五十分(旅館京城ホテル)
十月四日(火)午前京城神社、南山公園、朝鮮神社敷地、總督府、總督政務總監、總督官邸、午後李王家秘苑並に博物館
十月五日(水)午前軍司令官衙、□成病院午後總會臨場余興場(公會堂)臨場
十月六日(木)午前女子高等普通學校、淑明女學校、京城幼稚園午後高等女學校、庚子記念幼稚園本部長茶話會臨場
十月七日(金)午前景福宮博物館美術品製作所商品陳列館午後講演公會堂に於て一般講演
十月八日(土)午前女子技藝學校午後女子高等普通學校教職員生徒等の爲(高等女學校講堂)講演會
十月九日(日)午前仁川講演會午後築港其他視察歸京
十月十日(月)南大門發午前九時五十分新義州著午後九時三十七分
十月十一日(火)安東義州講演會(於新義州)
十月十二日(水)新義州發午前六時五十三分平壤著午後零時二十四分午後講演會牡丹台其他視察
十月十三日(木)平壤發午後零時三十八分南大門著午後七時
十月十四日(金)南大門發午前十時大邱著午後四時五十八分
十月十五日(土)午前各所視察午後講演會大邱發午後三時四十七分釜山著午後六時四十分
十月十六日(日)午前休養午后講演會各所視察乘船發航午後八時三十分
十月十七日(月)下關著午前七時三十分

本願寺の開教情勢視察

宮谷師の講演

來る大正十二年は親鸞聖人が淨土眞宗を創設してから滿七百年の記念の年である。それは親鸞聖人が五十二歳の時『教行信證』六巻を著はし天下に自己の信念を發表した元仁元年から起算したもので、眞宗の信者にとつては曠古の大典であるといふので、京都の東西本願寺では種々の記念事業が計畫されつゝあるが、先づ大谷派本願寺では之が事業は主として布教方面の刷新、社會事業の振興等が重なる項目であるが、今回教學部派遣開教師宮谷學師を朝鮮に派遣して同派開教の情勢を詳細視察せしめ將來に於ける開教の大方針を確立する上の資料とする事となつた。同學師はさる六日既に釜山に上陸し京、沿線の同派別院布教所を視察して九日京城南山本願寺に到着する豫定である南山本願寺では右の機會を期とし來る十日午後八時より同師の講演會を開催する由

鹽を廉くする　池田博士の發明

磯原の海濱で試驗

現在日本の鹽需要額は一年十五億斤、內地で十億斤を産し臺灣、關東州青島から約五億斤を製造し今は內地の需要を充分に滿たして居るが大正七年に內地製産高は僅に六億七千萬斤しか取れなかつた爲め

大恐慌を來して以來、財政經濟調査會で問題となり斯る非常時に備へる爲め池田菊苗博士の苦心發明に依り海水から直接鹽を取る方法を發見し更に實地試驗を爲すべく政府は二十九萬圓の豫算を以て茨城縣

磯原に機械を据え付け愈準備成て今月から試驗に着手する豫定に成つて居る、此方法は學術上の經驗では立派に成功してゐるものだが、今度之れを工業的に生産し得るや否やを試驗するのである、是が成功すれば內地鹽の製出額少い場合に此方法で直に補充出來るばかりでなく高價なる

鹽田も不要ならしむる時が來るかも知れぬ、內地鹽は天日で取るので無く、高い石炭を燃料として炊くので、製産費は天日製鹽の廿倍を要し、政府は今小賣一斤五錢で賣つてゐるが全く儲けは無くトン／＼である。海水から直製鹽法に依れば內地鹽より可成り安く付く筈である

職業婦人のエピソード (6)

病めるもの、慰安者　女醫の生活の表裏

婦人職業の最高を以ておさるゝ女醫師の上には現在どんな苦心が挿はれてゐるか、東京女醫學校の出身で京城に其の敏腕をふるつてゐる戸川女醫は長い經驗からひもといて次の如く語られた

私共醫師の仕事の上について其の責任の重い事は全く人の命を託さるゝのでありますからいはずもがな職務の上に立つ私共の氣分は實に眞剣なものです、そうして其職の眞剣で

あるだけ、之によつて又慰されるゝ處も多分にあります、苦ても此の職につきましてから

本當に職を呪ふといふ深刻な苦痛はあまりにないのでしたが患者に對し能ふ限りの力をつくして、それでも遂に死の手におくる時の悲痛は實にさへ殊なく殊に時と處とをかまはぬ産婦の難に至つては遂には職をなげ出したい位です、それに現在すでに女醫は社會に認められてゐるとはいへ、事實信用の點には如何はしい處があります

一般醫師の間でも同じ事ですが現在社會の信賴程度を知つてゐる女醫が、特に茲に女醫なるが爲といふ痛みを持つて往診もし折角心をこめて手當中であるのに患家で氣遣ひの餘り密かに他の醫師に一順みをかけてある事など、女醫の爲とはいへ一般的の事の樣でありますが、一入この

女醫の上には悲しい思ひ出です、しかし斯うした中にも一面には又患者を處かつて、他の醫師の立會をと家族に計られても充分に信用し安心して其の貴重な生命を托される場合は其責任と歡びを感ずる事は勿論ですが、平素醫師の中でも、社會の信用程度に惱みを持つてゐる女醫の上には一しほ大きい深刻なよろこびです、尚女醫の上には此の外職業外の結婚の惱みが附きまとひます

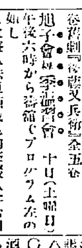
觀月列車

京管局の試み　十七日夜

暑かつた苦熱も漸く去りて初秋の涼風顏を撫る季節に入つた、京管局では此好期を利用し來る十七日南大門水原間に一往復の觀月列車を運轉することゝなつたが往復につき南大門及び龍山驛にては十二日より當日迄二等一圓五十錢三等九十錢小兒半額の割引往復乘車券を發賣する、そして南山の月、漢江の月共に佳ならざるにあらざるも汽車の窓より見たる月は又格別の觀がある水原西湖畔に於ける觀月は特に京城人士の感興を惹くものがあるでせうと

京劇を見る

初日印象記



初日の京劇は八日午後四時半に幕を開けた場內を思ひ切つて改造したので非常に觀よくなつたクラブの觀會電話交換事務員は內鮮人合せて四十名珍らしく相に眺めて居た其他三券專券料理屋組合本町三丁目有志引幕寄贈者等の招待あり盛況であつた

一番目有職鎌倉山序幕霞ヶ關鷹野の場幕開の源實朝が鷹狩に出る夫れが廻つて我家の佐野源左衛門經世殿笑の三浦荒次郎義澄が兩の花道から出て射止めた丹頂鶴の權利爭ひは地味な派手な場面▲歸途は本に還つて實朝の御前旨く鶴の一件を諷諭化して置いて實朝の引いた後で荒次郎が恐呆けて經世に散々恥辱を與へて面罵する此の處屈笑の役得▲取殘された經世が密かに拾つて初めて知つた三浦の謀叛之は忍く經世此の處我流の儲け役▲二幕目建長寺本堂の場は如何にも大袈裟な[illegible]の杜佛前の莊嚴なご至極上出來▲但し舞臺でノベタに[illegible]たのは耳障りだつた▲供物の分配の處で今かく／＼と居たり立つたりして待つて居る經世と隱し込んで居る三浦の荒次郎共によし▲經世が手紙を燒き捨てる一本調子な處は如何にもアノ時代の武士の半面に有勝な迂濶さをよく觀せた▲第三幕佐野源左衛門郎の場初めは非常にシンミリした場面だが荒五郎の父兵衛が出てから兩優息も吐かせぬ大車輪大向ふは無性に喜ぶ▲三幕目殿中刃傷の場は經世の[illegible]

[illegible]適中した時の惡き名狀すべからざる悲壯な顏色短い時間だが見ごたへのある入神の技で有つた▲中幕團譏[illegible]大師門前子別れの場[illegible]つて寺內へ入る處は十郎兵衛の姿らさ遲近して我子と知つての苦衷は少し硝りした所▲一の順禮娘おつるしの隙も無い動作終始緊張し俺さなかつた▲可憐なるつるは哀れにもよく出來た▲利右衛門さ卯多三郎の尼のお道化は笑はせる▲切狂言朝顏矢口渡頓兵衛內の場我流の娘お舟い美しい事目の醒める計り濃艷花か見く十七八の色氣盛りの娘六造ならぬ觀客がスッカリ魅了された▲夫れに引換へて新田さうてなかチョッン美しかつたらさ思はせる▲松藏の義峰にお舟の惚れ加減は至れり盡せり▲我童畢粹りの人形ぶりやイしかだ▲荒五郎の渡し守頓兵衛は荒五十八番だけあつて天下一品▲荒五郎は文久元年生れの今年六十二歲次の渡邊はアテにならぬ此の際見て置くべき一であらう(忘八)

見もの聞きもの

黄金館　八日より四大寫眞上場　實寫『瑞西亞國探險』舊劇『□組の喧嘩』全六巻、大冒險活劇『幽靈騎手』全六巻、新派劇『大正の春』全四巻、舊劇『大石妻子別れ』因に同館では今度縣妻之助、生田峰月、木下八重、少年辯士チャップリンの四名の辯士が入館したさ

京龍館　十日より新映畫提供實寫『大理石の探掘』長尺滑稽『知らぬ顏』一巻滑稽『ポピーの裁判』一巻西大活劇『電パール』三十二巻の內第七四巻上場新派悲劇『櫻の家』全四巻舊劇『後藤又兵衛』全五巻

旭子會　季溫習會　十日(土曜日)午後六時から壽館でプログラム左の如し

△敦盛△赤垣源藏△四條畷△宇治川△台灣人△小督局△屋ノ的△村上義光△重松中將△中山安兵衛△菅公△湖水渡△義士ノ本懷△伊賀ノ嘯△那須與市△齋藤實盛△橋ヶ佐△須羽△境ノ浦△德寺△菊ノ露△屋島△乃木將軍△茶臼山△筑後川△銀杏の樹蔭へ衣川

讀者の相談

相談部約束

人情上の惱有疑難に應じ一人一答す質問は簡單明瞭に一身上の事項に限る結婚戀愛、家庭、職業、育兒、病氣、戸籍、其他一切の秘密は嚴守す入用の爲返信を要するものは直接回答を爲す但し毎週日曜日午後の面談あり

內緣の妻家出

親は案外平氣

親友で內緣とは云へ、足掛四年も同棲した妻が、何者かに誘拐され、持物一切と若干の金子を所持して家出したので、親元に通知すると案外平氣なので居所を知つてゐるらしいのですが搜索願を出したものでせうか(南山町 三嘉生)

【答】內緣の妻では大して強くも申せますまい、又搜索願ひをお出しになるもよいでせうけれど、左樣な問題では、警察でもおいそれと搜索して貰はれるものでもなく、又居所が判明したとて本人が歸らぬと云へば夫れ迄の事です、既に貴下を捨て家出した者を搜し當て歸宅を迫つたとて何になりますか、貴下の品物でも盜み出て逃げたとか何か犯罪であれば八釜しく申す必要もあるかも知れませぬが之までの緣と諦めて他に緣るべき良緣を求めなさつては如何でせう

面會日　明日午後四時まで御訪ね下されはお目にかゝつて御相談を承はります(係記者)

私は三月廿七日の出生であるとの事ですが、戸籍面には五月五日となつてゐるのです、訂正の手續を(新龍山 芳子)

【答】戸籍謄本(抄本)產婆の證明書を添へ、區裁判所へ戸籍訂正許可申請を爲し、許可になつたらば區役所へ許可證を添へ戸籍訂正の申請を爲さい

近く結婚するものですが九月は日の都合が惡く、十月は又神無月となるので困つて居ます、十月に式をするのはよくないでせうか、又此の月には絕對しないものでせうか(鐘路乙女)

【答】結婚なすつても差し閊へはありませぬ

十五歲の時六年間前借百廿圓で某藝者屋に行きましたが、此頃になり辛い事許りあるので稼業が出來なくなりました、兩親も前借だけで歸れるなら是非歸る樣にと心配して居ますが、友達の話に年期だけ勤めないと、此迄の食料其他一切を拂はなければならぬ、といふが何とかよい方法はないでせうか(新町の悲しい女)

【答】藝業する事は御自由ですが、借金が證書にでもなつてゐると請求を受けませう、併し支拂へなければ夫れ迄の事ですが、左樣の商賣の方は手を替品を替請求するので實際上困りませう

反響報告臺

△この間お見ね下さつた黄金町のエス子さん、丁度鮮銀に出られる調査役の伊藤さんがお目にかゝりたいと仰有います、至急本社までおいで下さい(光永)

演藝案內

喜樂館　本町一丁目 電話九七七番
當る九月二日より新三大映畫提供
實寫 オーストリヤ貧民救助學校
滑稽 マック、セネツト映畫 □所の娘さん 全貳巻
日活京都派第一部製作品 尾上松之助中村扇太郎努力劇
舊劇 幡隨院長兵衛 全五巻
時は昔…江戸生粹の男性的俠客の…痛快極りなし
本日より謹寫 東宮殿下御歸朝 當日の御盛況
米國パテー特作最新聯續映畫公開 ワーナー・オーランド氏 エーリン・ハーシー嬢 主演
大活劇 第三の眼 全十五篇三十一巻ノ內
第一篇 □死の鐵線 第二篇 □死の鐵線 五巻上場
現代科學の極致を蒐め神秘的陰謀は遣れ代表的の連續映畫作品公開
新派悲劇 紅の双 全五巻
恩義の二字に斷ち難き執着の念を捨てゝし心しらゝ仇なれや可憐秋風に散る名花一輪
○料金毎週金曜日替換○

▼特別興行▲
皆樣永らくお待兼の
東京落語大一座
天下一品稻荷魔術 神道齋狐光
今晩より開演 浪花館

大正館　井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る九月九日より四大映畫大提供
一、實寫 マックス作倦怠痴 長尺
一、滑稽 英國海軍 長尺
一、喜劇 珍撮影大失敗 長尺
△尾上松之助 中村扇太郎 大合同
○大舊劇 有馬猫 全十巻
有馬公の亂行日々に益し忠臣の諫も水の泡に歸し有馬家も滅亡せんとする時に中老龍野江有馬將監等の大忠節に依り御家安泰に納まる
○名監督トーマス、エチインス映畫
○情話 路傍の花 全六巻
薄給の身にて浮世の荒波に揉まれし乙女ドロシーナーがクリスマスの夜最愛の妹に人形を買ひ與へんとせしも身貧にして窓に佇む一大悲劇
△日活向島派第二部高級作品
○新映畫 人の子 全四巻
酒、酒、恐ろしき酒の罪、人生の行路すがら恐ろしき酒の毒害に過多くの人の誤る酒を恐ろしき酒
番外 東宮殿下 御歸朝の御有樣及横濱市御迎へ實況 淸淨寫仕候
毎月一日十五日日曜祭日晝夜二回

東宮殿下御歸朝 當日の御盛況 喜樂館

黄金館　町 電話二六三七
○毎週金曜日替替○料金□□
當る九月八日より小報特別四大寫眞
實寫 瑞西北極探險 一巻
舊劇 四郎五郎 中村太郎一座 □組の喧嘩 全六巻
江戸の俠客め組の喧嘩 …
大冒險活劇 幽靈騎手 六巻 第十三、十四、十五篇
▲新派 大正の春 全四巻

▲義士傳 大石妻子別れ
吉田奈良丸 生田峰月
新加入辯士 小草辯士チャプリン
浪花座　本町五丁目 電車終點 電話二三三八番

魚屋宗五郎　村北新兵衛
京龍館　砲兵場電車通 活動常設 電話三二一番
電パール　櫻の家　後藤又兵衛 全五巻
東宮殿下 御歸朝御模樣及東京横濱に於ける歡迎の實況

浪花館　明治町 電話一六〇番
▲術者 神道齋狐光
○東京落語三遊亭小圓朝一座

京城劇場　本町 電話九七八番
來る九月八日より午後四時開演
一番目 有職鎌倉山 中狂言 河波鳴戶 切狂言 神靈矢口の渡

男女の必讀 性的粹書
江戸時代人情本作家の元祖 爲永春水原作
後の梅暦 入繪

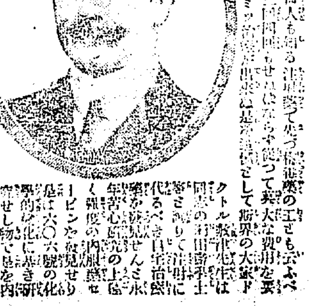
艶やかな江戸時代の男女が極めて大膽なる戀愛と露骨なる性的行爲を描寫せる春水一代の傑作原本は誰知らぬ者なき絕版珍書
振替東京四三一九 東京神田表猿樂町 巴文庫

健胃固腸丸

下痢、腹痛 吐瀉、腸胃加答兒を速に治す
惡疫は弱き腸胃を襲ふ 本劑を常に用ひ腸胃の健全に努められよ
藥價 廿錢 卅錢 五十錢 壹圓 貳圓 參圓 五圓 拾圓
本舖 大阪 東京 谷回春堂
各地藥店に販賣す 商標ご名義御注意
◎小兒には專門の小兒固腸丸あり

六〇六注射

代用藥內服セビン



梅毒に六〇六は偉大な治療薬であるが…
東京市本郷區眞砂町九番地 仁壽堂
大阪市南區堺筋…町 仁壽堂 柴崎興本店
代理店 京城府本町四丁目 柴崎興支店

英語夜學會 二學期生募集
スミス博士… 質川英語夜學會

測量家養成講習會
最新式速成教授にて測量技術の一般を授け…

神經衰弱特效 ユーキリン
本邦蛋白化學界の泰斗鈴木梅太郎博士の發見に係る燐及カルシウムの有機性化合物にして、「神經衰弱、發育不良の小兒、結核性疾患、姙婦、授乳婦」等に適用せらる
東京 三共株式會社

合服特價
特 金八拾五圓
甲 金五拾八圓
乙 金五拾貳圓
京城日報代理部

東京十六新聞代表 東宮拜謁を賜ふ
松田氏より賀表を奉る

【東京電報】皇太子殿下には八日午後一時東京市十六新聞社の代表者を高輪御所に召させられ珍田伯、二荒宮內書記官、澤田外務書記官、西園寺式部官侍立の間に拜謁を賜はり殿下には各新聞社代表者報知新聞社松田忠治氏捧讀の賀表を受けさせらるや優渥なる御言葉を賜はり一同二時過ぎ退出したり

東宮令旨を賜ふ
光榮に浴せる新聞代表者

【東京發電】皇太子殿下には八日都下新聞代表者が東京御所に參殿し御祝辭を捧呈したるに對し左の如き御言葉を賜はりたり

茲に諸子の誠意ある賀辭を受くるは余の滿足する所なると共に今回外遊中我國各新聞が詳細敏速に報道に努めたるは余の多とする所なり惟ふに新聞事業たるや國運の進展並に世界文明の發展に關し至大なる任務を有する事は言を俟たず諸子も余が西遊に際し特に此感を深くせり我國新聞は益〻自重して其の責務を盡さん事を望む

東宮殿下に拜謁して 赤池局長より言上
朝鮮の現狀を詳細に

【京東特電】八日着京したる朝鮮總督府赤池警務局長は早速高輪の東宮御所に伺候したるに特に皇太子殿下に拜謁仰せ附けられ濱尾大夫を通じ三日の京城祝賀會の狀況及朝鮮の現狀を詳細に御下問あらせられ大夫より直に殿下に言上したるに御喜び遊ばされたる旨傳へられたりと

奉祝活動寫眞を台覽に

朝鮮情報委員會に於ては皇太子殿下御歸朝京城祝賀會當日の總督府廳前學生の奉祝旗行列南山神社の奉祝典總督府の祝賀及慶福宮內府民の祝賀會並に當日市中の模樣等を活動寫眞に撮影し置きたるフィルムも此程整理濟みとなりたるに附東京出張所に回附し先づ皇太子殿下の御台覽に供した上廣く公衆に觀覽せしむる筈なりと

小栗氏奉祝飛行

【東京發電】民間飛行家中の人氣者小栗常太郎氏は八日夜奉祝夜間飛行の壯擧を敢てせり先づ午後八時四十五分洲崎飛行場を出發・機は青赤白を取り交ぜたる十燭光電燈六百にて翼をかざり三百に豆電球にて奉祝の二字を現し六百米突の高度を以て帝都の上空に一大美觀を呈せり

東京祝賀會 東宮殿下 一へ成らせらる

【東京電報】皇太子殿下には八日東京市祝賀會に成らせられ令旨を賜はりたるに對し後藤市長は皇太子殿下還啓後高輪御所に參進し御禮を申上げたり

金剛山畫報 【上】夕立の後の新金剛の溪谷 【下】危し!一本の綱で斷涯を下る

國分氏葬儀
九日午後四時から訓練院に於て執行

勅使參向 聖旨を傳達

九日國分次官葬儀に附而陛下より祭粢料として金三千五百圓幣帛白絹二匹御下賜の御沙汰を承はり午前十一時松永外事課長は勅使として同邸に遣はされた勅使一行正門に到着するや大禮服の末松事務官御出迎へ申上げ玄關には古城管室氏御案內設けたる室にて聖旨を傳達あり喪主佳哉氏は直に聖旨を故人の靈前に供へ直立して御禮を言上し同十一時半勅使退下せられた

國分邸 花環に埋る 門前の轍の跡つゞく

葬儀當日の國分邸は朝來葬儀準備に忙殺せられ庭前は各名士知己より贈られた花輪を以て埋られた中にも最も目に觸るは長崎縣人會よりの大花輪及び朝鮮貴族一同と記された花輪である邸內は黑の喪章を附けた葬儀委員の起ち動く影がさしもに廣き邸內にも廊下狹きまでに感じられた尙九日早朝李王殿下よりは未亡人に對して金一萬圓を御下賜せられた

葬列官邸を出づ

斯くして忙殺せられつゝある中にも準備は著々進捗して定刻三時葬列は官邸出棺し訓練院に向つた當日梨本宮御代理今村事務官李王殿下御代理李祭祀課長王世子殿下御代理李秉規李堈公代理魚潭中佐李公代理黑崎事務官の拜禮あつたが葬儀次第は左の通りである

▲葬儀次第

九月九日午後四時葬場を御設す
次に靈柩を葬場に安置す
次に會葬者着床
次に儀仗兵葬場前に堵列す
次に皇族王族公族の各御使位に就かせらる
次に僧侶式辭
次に李王職長官弔辭
其の他弔辭弔電を靈前に供す
次に梨本宮御使拜禮
次に昌德宮御使拜禮
次に王世子李堈公李鍝公各殿下の御使拜禮
次に喪主拜禮
次に總督軍司令官政務總監其の他親任官拜禮
此の間儀仗兵弔銃ちつゞ吹奏
次に一般會葬者拜禮
次に退出

途中葬列は左の順序に隨々として訓練院に向つた先頭騎馬警官二名白高張提灯二張定紋高張錦旗二旒李王職高等よりの花環引續き李長官韓贊侍長水野總監警務局長及大庭軍司令官の花環が同列にて李堈公李鍝公兩家の花環同列昌德若宮昌德宮より一對生花續いて馬車にて僧侶數十名導師として妙心寺住職馬車に搭乘し同じく香爐香爐記章を捧持者大極二等より旭二八卦一等瑞一旭日大綬章の銘旌、靈柩の前後は警察官に護られて未亡人喪主遺族近親者李王職々員一般參列者の順序に

遺產 五萬圓は何なる
豪家に傳はる秘密 龍山京町に黑煙を吐く

九萬圓の遺產が如何なるかと他人の癩氣を病むやうな噂が昨今龍山市內に傳はり傳へられるとんな事情を含むであるかと記者が其內容を探明して見ると

煙突の所有者某家で

所は龍山京町附近に巍然として聳だてる黑煙を吐きつゝある煙突の所有者某家である、この家の主人公な去る二月末病の爲め黃泉の客と化した遺族は當年二十六のうら若い龍山きつての今小町と呼び囃されてる絕世の美人、若後家と遺子○○(○)の二人である(住所氏名は特に秘す)四年前から勵瘁してる

此家の店員

に○田某(三)といふ妻ある小氣の利いた男がある、主人公が死亡して間もなく此の若後家と店員の間に怪しき噂がパッと立つた、附近の口善惡ない人々は『ナニ死亡前からだ!!若いから容易まもり難いしだ』等と評判する、だが五萬圓の遺產は怎うなる、彼の生ぬ仲の遺子が可愛想だと同情してゐる。元來この家の亡主は長崎縣

西彼杵郡香焼村生れ

で今より十二三年前妻女を引連れ京城に來住したもので最初は裸一貫から石炭やコークス等の賣買に奮鬪し遂に巨萬の富を築いたのである、一人の遺子は出征時代に生れたもので留守の妻は間もなく白梗中の骸骨と化した未だ活動盛りの男の身で到底孤獨で暮すことの出來ない處から亡主は

花柳界に足

を踏み入れ間もなく花の如き美人が家庭に現れた。これが即ち現在の若未亡人秋乃(假名)である、秋乃と店員○田某が關係してることは現在に於て非認し得ざる事實となつて現はれた、亡主が去い後は誰が五萬圓の財產所有者となり京城府に納稅したか、亡主の弟

留次郎の名

義に屆出でたが突然去る六月十五日未亡人秋乃の名義に變更されたと同時に、弟留次郎は憤慨して故鄕長崎に去つたとの噂である。現在では未亡人秋乃と秋乃の實母と店員○田某で一家を團欒してる、遺子は土地の小學校

尋常二年級

に何も知らず通學してる、處が店員○田某の妻すゐが承知しない戀仇の通恨を果さずに措くべくもない。すゐは內緣の妻であるから重婚の告訴が出來ない然し人倫の罪を破壞した此の男女に對し且つ遺子の爲め將來五萬圓の財產を保有し遣る必要があると云ふ意義で盛に反對運動を續けてるすゐは目下府內大和新地の某樓に仲居奉公をしてる、

抱娼妓毆打事件 控訴公判に鬼樓主
小林彌平恐れ入る

[illegible]平壤賑町美人樓主小林彌平(三〇)が抱へ娼妓登六(こ)を毆打し平壤地方法院にて懲役三ヶ月の判決言渡を受けたるも小林は是を不服とし控訴したる由は既報の如くなるが八日午前九時より

平壤覆審法院にて

五味裁判長となり長谷部、藤兩氏陪席判事となり開廷事件が事件だけに朝來傍聽人殺到し中には銀杏返し島田等の媚めかしき者も見受られたり先づ五味裁判長等は型の如く取調べ申請する事は無いかと聞き被告の青山森岡兩辯護士より交々娼妓監禁の

實地檢證

人の喚問等の申請あり裁判長は合議に附すべしと宣して退席し約卅分にして再び開廷裁判長は申請の件は無用なりと却下し次いで三井檢事明快なる辯舌を以て縷々理由を述べ第一審は餘りに輕きに失せり宜しく嚴罰の要あり本官は此意味に於て前判決を取消し

懲役六ケ月

を求刑すと秋霜烈日の感あり青山森岡兩辯護士は被告の爲め有利なる辯護を試み減刑を主張したるが裁判長は十三日判決を言渡すべしと宣し午後一時閉廷退道の小林彌平も恐れ入り悄然として退下れり(平壤)

住宅大拂底
家屋の實在數と世帶數を比べて
二千七百世帶が間借りやら同居をしてゐる

住宅拂底の聲は單に大都市のみの問題でなく全國到る所の市區に喧しいが之が原因は種々錯雜せるならんも然し

解決

の根底に橫たはれるは資源である總督府では此の住宅難の調節を圖る爲め府及指定面に場合によつては住宅建築に低利資金を供給すべく目下調査中であるが、最近京城府廳の調査によると府內の住宅總數は

日本家屋 一萬二千三百七十八戸
鮮人家屋 三萬九千二百八戸
合計 五萬一千五百八十六戸

であるが

實際

の世帶數は內地人一萬六千四百十四鮮人三萬七千九百二十七、合計五萬四千三百四十一世帶で、差引二千七百五十五世帶は間借りをして居る譯である。斯くの如く住宅拂底のため家賃は驚くべき程騰貴して月給生活者は收入の三分の一以上を

家賃

に差引かれ四苦八苦の遣繰算段に糟糠の妻を泣かせて居る者が多くないと云ふ府廳の調査によれば家賃は瓦葺バラック建溫突改造家屋平家二階建等の差別や地理の關係、建物の新古等によつて一間位で十八圓から二十五圓位の相違はあるが六疊四疊半二疊各鮮人家屋は草葺と瓦葺で家賃の相違はあるが五六間の

草葺

家ならば一間當りが三圓から六圓、瓦葺きならば五圓乃至七圓と云ふ事になつて居る。それで京城府內で實際必要に迫られた住宅がどの位不足して居るかと云ふと現在では千百三十七戸であるが都市の膨脹に從ひ逐年住宅の不足して行くのは當然の理で府廳では銀行會社の重なるものに

勸誘

して社宅建築の促進を企圖し尙漢江通りに四十戸の府營日本家屋を建設し又民間でも日本家屋二百十戸、鮮人家屋百二十五戸を新築し尙近く新築の豫定なる府營鮮人住宅百戸、銀行會社の社宅及び總督府官舍七十二戸、民間經營の日本住宅百三十九戸、同

鮮人

住宅六十三戸を加算しても合計七百九戸で尙四百餘戸の不足である府では總督府の低利資金十萬圓程度を受け府又は學校組合で千坪位の敷地をトし五十戸(主として學校教員)の住宅を建設する計畫があると

日滿飛行の着陸場決定

【長春八日發電】日滿大飛行當日の着陸場は日支官憲實地調査

飛行機製作場押流さる
群馬の大豪雨

【前橋發電】群馬縣下八日朝來大豪雨あり縣下一帶被害少からざるが新田郡大田町を貫流する新田堀は數ヶ所決潰し濁流は大田町に氾濫し特に大光院をはじめ中島飛行機製作所は濁流につゝまれたり爲に警官消防隊出動警戒に努め一方中島飛行機製作所にては材料の流失を防ぐため之等を搬出しつゝあり大田全町慘憺を極め大混亂を呈し居れり

馬賊引揚ぐ

琿春を脅威したる馬賊の兵力は約六百名にして六日琿春の北方約三里の地に迫りたるも一部の主力部隊は直に北方に引揚げたりとの情報あり(警務局發表)

辯護士大會
全鮮辯護士大會の準備

裁判所構成法及辯護士法實施に就て盛んに氣焰を擧げてゐる京城辯護士會では今回更に之等の貫徹を計る爲め臨時總會を開く事になつてゐるが愈十一日午後六時から本町府香園にて開催する事に決定した、決議事項は右に關する全鮮辯護士大會の件及辯護士控訴擴張の件等は重なるものであると

朝鮮婦人講習
群山に於ける

村上塚禰氏は社會敎化事業に貢獻せんが爲め某寺院住持の職を去り專心努力中の熱誠家なるが八月一日より同月末まで群山府屯栗里に於て朝鮮婦人夏季講習會を開きたるに應募者は豫定を超ゆること廿七名に及び會場の狹隘なると設備の不完全なる爲め收容不可能にて五十餘名の出席者を左の如く區分し

第一班 午後五時より同八時まで
第二班 午後八時より同十時まで

二名の講師と共に講習に從事せり、會場に就ては二三適好の箇所ありしも何れも內地人の所有にして交渉の結果遂に諒解を得ざりしが偶々當地富豪韓相契氏の同情の下に敷地五百坪永久無料貸付を受け尙は學舍の建築費並に維持費にも相當寄附を爲すべき申出あり旁之に氣を得て百方遊說に努め敎化資金調達の方法を講じつゝあり因に同會終了後引續き簡易なる女塾を設け將來私立高等普通學校を設くるの素地を造る方針にて諸般計畫を進めつゝありといふ(群山特信)

東大教授 齋藤氏講演

齋藤教授は英文學の造詣深く東大文科敎壇の一大權威なるが先般長谷川如是閑君と共に上海日本人基督敎青年會の招聘に應じ同地に於て講演をなし夫れより支那大陸を橫斷して九日午後七時當地に來着し二三日滯在し左の講演ありと云ふ

▲十日(土)午後二時(文藝と宗敎)長谷川町日本基督敎會婦人會
▲同(土)午後七時三十分(ブラウニングと宗敎)太平町一丁目京城基督敎青年會
▲十一日(日)午後十時及び午後八時(說敎)長谷川町日本基督敎會

井上敬也氏令孃訃 孫子は七日朝死亡九日午前十時途中葬列を廢し若龍山興國寺に於て葬儀を營みたり

法廷便り

▲貸掛代金請求 仁川府內里鬼頭兼次郎代理人後藤辯護士は龍北金泉本町小坂吉計に對し三千七百餘圓元山本町小塚順造に對し三千九百餘圓馬山元町支那人揚北海に對し一千六百餘圓の何れも商店貸掛代金請求訴訟を提出したが理由は商取引金の支拂を求めるといふのである

▲爲替手形訴訟 府內新本町京城織紐株式會社は切山、金、堀の三辯護士を代理人として鍾路二丁目龍山勸業株式會社及び團裕植を相手取つて訴額八千圓の爲替手形金請求を提出した右は原告は一月受取人殖產銀行支拂人を被告期日を七月末日と定めた訴額金爲替手形を振出し被告は之を引受けたるにも拘らず之が履行をせぬといふのである

大田軍慘敗す
大每卅八對全大田零

大每野球團對オール大田野球戰は八日大田中學校庭に舉行、大田の青壯年は擧つて見物に來り小學生及女子の觀衆も少からず例に依り大每軍より大田野球團にペナントを贈呈し同野球團は十歲の小年小林鶴夫君の手を以て花束を大每軍に贈り關本大田中學校長の始球式の後午後四時合開始。林雨氏審判本社先攻に試合開始。大每軍は毎回四球にて出壘者あり加ふるに第一回に出口安打日下右翼三壘打に出たが三回懸山、日下、澤の安打小野の左壘二壘打と敵失に三點第四回內海、懸山、小野の安打と捕手逸球に四點第五回內海の安打と日下の中堅三壘打森の中堅二壘打に三點第六回(是より大田軍は坂本を投手に大每軍は安井を投手に代ふ)內海、日下の安打と敵失に三點第七回井川、懸山の安打節木の三壘打小野の二壘打等あつて四點第八回懸山、日下、鈴木の安打と井川の二つの二壘打等に九點第九回內海の二つの安打懸山の安打、日下の二壘打及び滿壘に際する小野の本壘打等に八點を占め得しに對し大田軍は第二回第八回に四球にて一壘に出で第九回に若泉遊擊後テキサスに出で二壘盜みし外出壘者なく結局卅八對零にて大每軍の勝に歸す時に六時十五分

大每軍 [illegible]
大田軍 [illegible]

(遊軍)金二(本壘打)小野(三壘打)日下二、鈴木、內海(二壘打)小野二、森、內海、井川二

野球後援會
リーグ戰開始

仁川野球後援會は七日午後八時青年會館に役員會を開いて會計報告並當番理事選任會員募集の方法等に就て協議したが當番理事としては抽籤の結果左の通りに決定各受持ち依つて其月の總べての斡旋處理をする事になつた即ち

源野平井增井(九・十月)田邊武智郭十一(十一・二月)結城上田島倉(三月四月)足立太田河內(五月六月)藤山鷲杉野(七月八月)

而して全仁川軍の練習日を毎週一回水曜日午後四時よりと決定此日は選手は出來得る限り出席して貰ふ事に各其の協會者へ特に後援會から依頼する事となつて居る更らに後援會の發會を兼ねてリーグ戰を開始するか或るは全仁川軍の對外試合を以て之れに代ゆるかに就て議論沸騰可否に問ふたが半數を以て各々ゆずらず騷然たる論議を見たが結局リーグ戰を行ふ事に決定期日を九月十八日から初め十月一日を以て終了の豫定で準備する事に決定した(仁川)

神戶高商軍來奉

目下大連にある神戶高商の野球遠征軍は來る十二日來奉奉天軍と開戰する筈である(奉天)

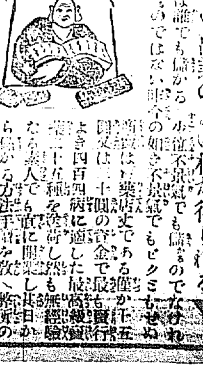
專門學校硬球單試合

朝鮮體育協會主催大每優勝旗爭奪の專門學校硬球單試合を十一日午前九時から龍山滿鐵コートに於て擧行出場學校は工專醫專高商の三校選手は八時半迄に同所に集合すべしと

一商野球團來

大朝主催の全國中等學校野球大會に出場して最後迄奮鬪せし京都一商野球部は滿洲を得て十日入城十二日午後四時より滿鐵グラウンドに於て中學校と試合する筈なり

▲孫子の代まで儲かる▼
拾五圓の少資本で
▽副業のよい株が得られる▽



東京牛込通寺町二二 (電話番町四二〇一番) 竹生製藥所

セミラ
御婦人に御注意
皆さん本椿香油の誇りは品質にあるのです
近來薄い油によい匂をつけて賣て居る粗惡品が澤山あります是は髮の爲めに最も惡いのですから匂だけに迷はず御注意なさい
それですから髮油は「東洋第一」の賣れ行きある日本名物本椿香油に限ります
九條公爵家其他華族方御常用の榮を蒙れり

金牌受領

本舖 大阪 三宅堂

蛇類研究所製
ノムと直ぐキク花柳病藥
御注文の際は振替か爲替にてお願ひ致します 代金引替にても發送致します
朝鮮京城本町四ノ川 特約店 川村銓造

寛永御前試合 (12)

第八十二席　小金井芦洲講演

牛『ウム御公達は僥倖だ、仕官をして居る者は然ういふ所へ來ると何所か極まりが宜いが、浪人武藝者と來ると往かんな、昨夜云々之々今しがた醒た所だ、取『イヤ其れは氣の毒であつた酷い目に遇つたと話して居る其中竹內加賀之助は宮本先生み尋ね、打連れて柏木半介方へ吉岡兵房を訪れる、兵房も目を覺まし。ソコで改めて叮嚀の挨拶三輪柏木牛野の三人から此事を御主人浮田中納言殿は出征中で御留守居の長船紀伊守へ申上げると珍しき事に思はれ、紀伊守が三勇士に對面み致して少からざる引出物などを貰ひ、暫らく當地に滯在をして、茲に別れを告げ、中に宮本は其より津山を立つて飛驒國を横に信濃へ入り、信州へ入るのは此の道が近いと敎へられて、初めての旅ながら近道の方を辿つて來ると、何と云ふ山だか樹木鬱蒼として居る恐ろしい山路へ入り行けども〳〵人家は無い、道の無い所を漸々に踏分けて彼之三里ばかり、たつて來ると日がドツプリ暮れ明火の爲に向ふに一軒の家があるのが分かつた、明火を便りに來てヒヨイと宮本先生中を覗いて見ると、爐端の所に兎の胴服を著て、鬆髮蓬々として獵人らしい男が只一人煙草を喫らして居る、竹の柱に壁は無く、莚を以て風避けがして居る誠に穢い家だ、人の一生といふ者は不思議なもので、斯ういふ深山幽谷にか斯かる住まみをして是で事が足りて居るものもあれば、繁華の土地にあつて奢を極めて居る者もある兎に角我等に取つては此の住まゐは地獄で佛、今夜一泊を賴まんものと門に立つて　武『少々申入れる。○『オ、何だね　武『手前は諸國を修行致す武術者、信濃の國へ入らんとして里人の敎へに從つて此の山路へ入り、行き暮れて誠に難儀いたす、今夜一夜の宿りを賴みたい　○『アヽ其れは嘸かし困んなすつたらう、オ、見受けた所がまだ壯年修行の爲めとは云ひながら、定めし疲れなすつたらう、見る通りの出家の事だから、今夜緩くり疲勞を休めて行なさい　○『サ　武『其れは早速の承知辱けない　と擔いで居た荷物を其れへ差し置き、草鞋を取り、足を淸水で淨めて昇つて來まして爐端の所へピタリ坐座　武『イヤどうも飛んだ御迷惑を賴んで氣の毒だシテ此の所は何といふ峠だな○『此所は蛇峠といひます　武『アー○『蛇峠、は『上りが三里下りが三里、知らないから上つてござらつしやつたらうが日が暮て此の山を越すなといふ者がある者ぢやアねい第一マア大分陽氣も寒くなつて來たから宜いが、陽氣が暖からうもんなら大きな蛇が出る。其れゆゑ此處を蛇塚といひます　武『左樣か、天下の豪傑武藏先生だが性來蛇が大嫌ひだ、話を聞いたばかりでゾツとした○『マア私も一杯やらうと思つて居た所だから、手製の濁酒を用して温めやう其でも飲みなさるが宜い　武『其れは千萬忝ない　は立ち上つて、向ふの納戶の方へ行つたと思ふと暫て持つて來ました濁酒、燗鍋といふ奴で温める時は泥水を吞むの器へで、舌皷を打つて二三ばい御馳走になつた。○『私はまだ此處で緩くり飲るだ、口に合はねば酒で却て迷惑だつたらう、少しの間向ふへ行つて休みなさるが宜い　武『折角の言葉、然らば暫時休息をして貰はう、大分酩酊を致したから、と挨拶をして四疊半ばかりの小座敷、之とても隨分汚い風避けの莚を捲くつて案內をされたま、之れへ入る　○『著ればとて被れればとて、何も其手當がねいが、其れだけは我慢をしなさい、寒くねいやうに爐に火は澤山焚くから……　武『イヤ雨露さへ凌げれば結構だ、之で宜いと荷物を左の所へ差置き、小刀を前半に手挾み、大刀は柄前を下にして鐺を上に仰けるやうにして柱に倚り掛つてウトリ〳〵暫時疲れを癒らひ、少しばかり睡ろんだと思ふとガサリ〳〵と頭の上で物音がした

染物 洗張師　清水堂　京城府漢江通三　電話七九四番

若宮染工場　印入 絆天　京城南大門通二丁目（丁子屋前）　專門　京城魚市場隣　電話一八五七番

將棋新手合　第十三局（二）

於大阪市西區阿波座木見七段宅　香相引

▲七段　溝呂木光治（東京）
△七段　矢野通郎（大阪）

圖は九六步迄の局面　△持駒 矢野氏 ナシ

△三四步 ▲七六步 △四四步 ▲二六步 △三五步 ▲二五步 △三三角 ▲一六步 △三二飛 ▲一五步 △四二銀 ▲四八銀 △六二玉 ▲六八玉 △七二玉 ▲七八玉 △八二玉 ▲五八金 △九四步 ▲九六步 △七二銀 ▲一八飛 △一二飛 ▲一六飛

（以下次號）

講評　兩氏とも內地へ歸り東西に分て最初の手合なり相方とも香落定跡なれば評なし

九月十一日

（舊曆八月十日）日曜日 ▲丁丑 ▲二黑 劍未申 ▲佛滅 ▲房宿 ▲定

▲二黑▲不自然な事多き日此細なる問題も等閑に附すべからず
▼三碧▲面倒なる要件を持込まれ易く惡癖を發したくなる日
▼四綠▲紛紜の起る日常の事は行うて吉女子は行儀を守るべし
▼五黃▲物事成りはしても利に疎く睽して控目にして損を免るべし
▼六白▲信用を増す日起業開店等は固より發女子を定むる吉
▼七赤▲幸運の日若し低きに安んぜば後日高きに上る因となる
▼八白▲合點の行かぬ事ある日へ輕率と妄動を愼みて損害を免る
▼九紫▲何事も極めて順調に進捗すべく大事件を片づくるに妙
▼一白▲物事の行違ひを生ずる日所事は見合せて利害事は平穩

安東金融近況

[illegible]

着筏九千臺

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

京城地方法院　商業登記

[illegible]
朝鮮銀行ハ大正十年八月七日滿洲吉林河南街ノ支店ヲ滿洲吉林河南街第壹區六百八拾號ニ移轉ス
右大正拾年八月拾日登記

商業登記公告　開城支廳

[illegible]

商業登記公告　沙里院出張所

[illegible]

商業登記公告　春川支廳

[illegible]

鐵原支廳

[illegible]

花王石鹸

謹白

輓近衞生思想の異數な發達は石鹸を日常生活に緊密離るべからざるものと致しました　從つて石鹸の良否選擇といふことは何處の御家庭でも眞面目な必要な問題として取扱はれることになりましたのは邦家のため慶賀に堪へない次第であります　花王石鹸が化粧衞生經濟の三方面に應酬して如何に國家的貢獻を捧げつゝあるかは皆樣の疾くに御承知のことゝ存じます　若し夫れその品質の優良效果の獨特に至つては皆樣の容易にして且つ完全なる御會得を戴くため永年御採用を辱うする各官公衙病院諸會社の芳名を滿腔の感謝を以て左に列擧する事を無上の光榮と致すものでございます　この絕大の光榮と恩澤に對し愈々精進に努力を重ね益々品質の向上改善を計らんとするは元より當然の弊舖の覺悟でございます　本品の廉價なるは今更申上げる迄もなく御承知のことゝ存じます　無用の虛飾に費を用ひず一意たゞ品質本位に終始いたしまする拔群純良の石鹸と御信賴の上　末長く御愛用あらんことを只管御願ひ申上げます

花王石鹸御採用各位芳名一斑（次第不同）

陸軍省殿　鐵道省殿　陸軍各軍樂隊殿
海軍省殿　鐵道病院殿　帝國海軍各艦隊殿
東京帝國大學醫學部殿　全國各府縣立病院殿　鎭守府各海軍病院殿
京都帝國大學醫學部殿　全國各師團下各聯大隊殿　海軍各學校殿
九州帝國大學醫學部殿　偕行社殿　海軍造兵廠殿
東北帝國大學醫學部殿　各師團衞戍病院殿　海軍各航空隊殿
慶應醫科大學殿　陸軍各學校殿　水交社殿
慈惠會病院殿　陸軍兵器廠殿　聖路加病院殿
恩賜財團濟生會病院殿　砲兵工廠殿　養生園殿
赤十字病院殿　陸軍航空各大隊殿　東京病院殿
傳染病研究所殿　陸軍軍馬補充部殿　順天堂病院殿
大阪醫科大學殿　陸軍衞生材料廠殿　日本郵船株式會社殿
愛知醫科大學殿　陸軍被服廠殿　東洋汽船株式會社殿
新潟醫學專門學校殿　陸軍糧秣廠殿　日清汽船株式會社殿
岡山醫學專門學校殿　朝鮮駐在各聯隊殿　川崎造船所殿
千葉醫學專門學校殿　支那駐屯守備隊殿　三菱造船所殿
臺灣總督府各病院殿　西比利亞軍司令部殿　八幡製鐵所殿
南滿醫學堂病院殿　青島陸軍病院殿　室蘭製鋼所殿
南滿州鐵道會社病院殿　朝鮮總督府醫院殿　北海道炭鑛汽船株式會社殿
樺太廳各病院殿　陸軍各要塞司令部殿　大阪商船株式會社殿

花王石鹸本舖　東京馬喰町　合資會社　長瀨商會
花王石鹸關西代理店　大阪安土町　株式會社　大崎組

京取解合不調

買方遂に泣く

京取市場強弱兩者の睨合は週間取引期日の切迫と共に益々深甚なるものありしが九日前場引後買方は遂に或種の條件を以て賣方に對し解合談を申込めるが其條件は賣方の容る所とならずして談判不調に歸し後場立會をなせるが悽慘の氣象面を呈し京取限月取引は百三圓廿錢に今週百二圓五十錢來週百三圓五十錢の安値に寄附きたり尚解合條件の内容に就て仄聞する所によれば賣方こしても對客關係もあり、買方も買方の逆境に同情したる旁解合値段の協定には九十七八圓所を主張し買方百五圓所を主張しかくて兩者の間隔甚だしく遂に不調に歸せるものと云ふ

京信重役會

十日續會せん

京信重役會は九日午後一時より京信會社にて開催せる京信會社臨時株主總會招集の件は其決定を見ず九日十一時より更に重役會を續會して決定すべしと云ふ同株主總會は重大事件なるを以て當事者としても慎重なる態度を持するもの〻如し但し議案中仲買人身元保證金增額決定の件は左の如く決定せり

二千圓を五千圓と增額の事增額を二回に分ちて徴收すること即ち千五百圓は九月中千五百圓は明年一月中徴收すること

後一時より同協會に開催せる役員會及評議員會に於て審議せられ二三ヶ所字句の訂正ありたる丈にて他は原案通り決定したるを以て協會にては直に當局に對し組織變更許可を申請すべく手續き中なるが右變更許可を受けたる上來る總會に提出する手筈なりと尚附帶事項として將來一層協會の基礎を鞏固にし信用を增進する意味に於て協會の全納寄附に因り金二萬圓を基本財産以外別途に設立協會發展に伴ふ準備金とするの件を決定し設起者は組織變更起草委員之れに當り近く取纏めに着手すべしと

京城客月商況

米 期米の連續高に人氣を煽り穀騰歩調を辿りしが荷動き捗々しからず移出口殆ど皆無只管需筋の取引弗々ながら行はれ居日前の天候に人氣は氣迷の狀態を呈し下旬には内鮮米作豫想發表に腰砕ける氣味あり四五十錢方下落し月末唱へ値は地搗上物米二十六圓並二十五圓所なり

粟 實需筋賣行弗々に行はれたれども市況は先閑散裡に推移せり月末相場は十圓より十一圓所を唱へたり

大豆 期正米の絡騰を受け氣配は幾分高張の氣味なれども内地の買勢之れに添はず移出口は不振殆ど皆無の姿にて商内は頗る閑散なり相場は漸落を辿り月末龍山物十四圓八十錢所を唱へ居れり

砂糖 實需筋の賣行弗々ながら大口ものは殆どなく市況頗る閑散を極め相場は全く釘付狀態にてゼー印二十五圓五十錢エスーエッチ印二十四圓所を保合ひ居れり

綿絲布 市況閑散兎角軟調を辿りたるも中旬に至り流石需要期の接近に實需の擡頭と共に漸く活氣付き加ふるに米綿の續騰銀塊の强調に依り益々氣勢を揚げ相場も月末五六圓方上伸三エー三百圓三エス二百五十圓所を唱へられ越月後は一層飛躍を見るべしと觀測せらる (朝鮮銀行調査部)

信用增進策

朝鮮土木建築協會に於ける法人組織に變更すべき定款は七日午

京城通關貿易

京城稅關出張所に於ける八月中の輸移出入貿易高は輸移出合計十八萬八千七百三十九圓輸移入合計四百三萬八百三圓にして前月に比し輸移出に於て七百八十九圓減少し輸移入に於ては百四十萬二千六百八十五圓增加せり八月中の貿易額の主要種類を示せば左表の如し

輸移出品の部

人蔘	一、六〇二
繭	一〇、一九一
生絲	三六、四〇六
牛皮	二二、七〇一
其他雜品	一一五、四五八

輸移入品の部

粟	八〇、七九一
小麥	一〇、二三一
小麥粉	一五、〇二六
砂糖	一四八、三六二
清酒	一六、四八八
麥酒	九、九二〇
綿絲及打綿	二〇、九七一
綿織絲	五六、五五九
生金巾	一五五、七〇七
四金巾	六三、八一八
綾金巾	一二八、九九一
天竺布	四一、四〇二
日本木綿	七一、八一一
毛織物	一九三、二九一
絹織物	二五、五二四
洋酒	三六、九六九
其他紙類	八五、八七〇
諸器械類	二六七、〇〇六
煙草	四四、八五三
生皮及熟皮	一七、六二四
陶器及磁器	九、〇八四
木材及板	一六、七七五
小包郵便物	七一八、三一五

布木類好況 (朝鮮側)

節季既に餘日なきに至り季節品の需要漸く旺盛にして加ふるに冬物仕入時期に入りたること〻て諸商品の荷動き次第に繁忙を呈し市況一段の殷賑を加ふるに至りたるが如し就中布木類の需要最も旺にして小口乍ら荷動き頗る活潑なるものあり元より一昨年の好況を望み難きも其の昨年今月に於ける賣行は優に昨年の四五倍を下らざるべしと云ふ商勢斯くの如くなると内地相場

都市金組業績

京畿道都市金融組合八月中の主要業務狀況を聞くに鍾路金融組合を除く其他七組合の八月末現在預かり金合計四十七萬七千七百九十五圓貸付金合計百二十二萬四千〇十一圓にして七月末に比し預かり金二萬六千十七圓貸付金六萬三千七百二十九圓共に增加したり八月末現在預かり金及貸付金を組合別に示せば左表の如し

組合名	預金	貸付金
水原	四四、八五七	一一六、六八一
仁川	五七、五九八	一一三、四四四
松都	二九、五三六	一二六、〇六四
光化	一〇三、六五七	二七六、一〇三
俊城	九〇、三六〇	二〇六、五五七
南大門	五八、六一四	二〇九、九二六
龍山	九三、一七三	一九五、二三六
合計	四七七、七九五	一、二二四、〇一一

金融組合移轉

京畿道金融組合聯合會は從來道廳内の一部に事務所を設きたるが近來金融組合の發展に伴ふ業務の增大により狹隘となれるを以て今回鐘路一丁目六十八番地に事務所を新築する事に決定十日同所に於て請負入札を行ふ由

種苗業者總會

全鮮種苗業者組合にては十日午後一時より京城商業會議所會議室に於て第二回總會を開催し會務の報告其他の事項に付協議する筈

繭相場

地方秋繭取引に付總督府入電左の如し

▲京畿抱川に於て九月六日左の取引あり

等級	單價 (圓)	數量 (石)
特等	五三、七五	一、七〇八
一等	四五、六九	一、三五五
二等	三七、六三	一、三二一
三等	三二、二五	七二八
四等	二八、四九	一七八
玉繭	二六、〇〇	三六二

▲京畿加平に於て九月二日左の取引あり

等級	單價	數量
特等	五一、三〇	五一七
一等	四三、六〇	七八五
二等	三五、九〇	一、四四七
三等	三〇、八〇	一、七一三
四等	二七、二〇	五四〇
玉繭	二五、〇〇	一八四

○朝鮮銀行券 八日現在左の如し

發行高	一〇三、四二七、六〇九
正貨準備	五四、一七九、六〇五
保證準備	

株式 (九日)

現株市場出來值

銘柄		前場	後場
京取	寄	一〇七、〇〇 一〇八、五〇	一〇三、五〇 一〇三、五〇
京取	引	六九、七〇 六五、五〇	四〇、〇〇 六〇、〇〇
仁取	寄	二〇三、〇〇	二〇三、〇〇
鮮銀	寄	一二八、七〇	一二八、七〇
同新	寄	四一、八〇	四一、八〇
殖銀	寄	三三、七〇	三三、七〇
同新	寄	一五、七〇	一六、〇〇
實銀	寄	九、五〇	九、五〇
商銀	寄	四八、五〇	四八、五〇
同新	寄		
漢銀	寄	四三、五〇	四三、五〇
同新	寄	一〇、〇〇	一〇、〇〇
韓銀	寄	二九、五〇	二九、五〇
東拓	寄	六四、五〇	六四、五〇
同新	寄	二〇、八〇	二〇、八〇
鮮土	寄	一三、五〇	一三、六〇
朝紡	寄	三二、七〇	三二、七〇
滿毛	寄	一八、七〇	一八、七〇
京電	寄	五六、七〇	五六、七〇
同新	寄	四二、〇〇	四二、〇〇
電興	寄	一七、二〇	一七、二〇
朝紙	寄	一八、〇〇	一八、〇〇
朝郵	寄	三九、〇〇	三九、〇〇
殖鐵	寄	九、〇〇	九、二〇
中鐵	寄	二七、五〇	二七、五〇
滿鐵	寄	一二〇、〇〇	一二〇、〇〇
同新	寄	二七、五〇	二七、五〇
東亞	寄	四七、五〇	
同新	寄	二二、二〇	二二、二〇 一、〇〇
朝煙	寄	三六、〇〇	三六、〇〇
乙の部			
信託	寄		
安取	寄	四七、五〇 六、七〇	四七、〇〇 一、〇〇
安取	引	[illegible]	四一、七〇 三、〇〇
大新	寄	一三六、〇〇	一三五、〇〇
上取	寄	六八、〇〇	六八、〇〇
新東	寄	二三、〇〇	二三、〇〇
短期取引 京取	寄	一〇六、八〇	一〇三、〇〇
仁取	寄	二〇三、〇〇	二〇三、〇〇
大新	寄	一三、〇〇	一三、〇〇
滿毛	寄	一三、〇〇	
朝紡	寄	三三、八〇	三三、八〇
亞新	寄	三二、〇〇	三二、〇〇
拓新	寄		

東京現株 (九日後場)

大阪株式

安東株式

○八日後場 安取當 寄付 四五、〇〇 大引 四五、〇〇
○九日前場 安取當 寄付 四三、〇〇

前場は不勢

京取は依然として利喰の外新規買物なく例の買物合成立說も懸念を裝けるゝ形勢は一部解連の軟化を誘ひ惡氣さ一人されて模各の賣物目立ちて短期五圓九十錢こ二圓十錢安の利喰物に七圓三十錢迄引戻したが利喰一巡と共に再びダレ込み六圓八十錢ありて七圓と引け一圓安今週は七圓と寄り五十錢を高値に六圓九十錢と引け一圓十錢安來週は八圓五十錢と寄り跡買氣緩かずこ二十錢ダレ二の廻りは更に七圓五十錢を崩れて氣配減切り惡化し此邊撤氣の投げ物

京城株式現物取引市場仲買人 京城府明治町 (信) 吉見株式店 電話長一〇八 振替八二六五番 市場電話一六九番 能に株式金融確實御便宜取扱御候 信託部

一圓五十錢安

六圓三十錢の安値を見て五十錢百三圓に引け寄り二十錢と引け五十錢高を示して小口の手合せあり大新は大阪の昨後場先物四十圓に乗せ延べ三十八圓をさ小喰かりを移せしが當地は人氣薄はず三十五圓に寄り七圓と戻しだが跡六圓六十錢より五圓ドルを安値に五圓三十錢と寄り八十錢を高値に二東地場のヂリ安を移して今週四十七圓五十錢と寄り四十錢安取は安十錢と崩れて一圓十錢安來週廻り六圓七十錢と引け七十錢高安七圓に寄り跡利喰に三四十錢方戻したが利喰の外新規買全く衰へ二の廻り六圓六十錢を採み七十錢と引け

一圓二十錢安を示したが

之れを昨後場安東相場の四十四圓落に比すれば尚上鞘を打ちつゝあるも右は鮮人筋の買支へと賣方の錢入れとするもの〻如く賣勢は今一段の崩落は免れ難き商狀に見受けられた

京取益惡化

買方振はず

前日來靜中に動兆を帶び來つた京取は如何にも決戰期の切迫せるを思はしめたが今朝の場面は一部買方の執拗な化さも思ぼしき賣物に氣配減切り不努に傾き短期今週一圓安來週二圓以上の低落となり

愈々百圓の大臺割れを懸念さるゝ商狀に見受けられた

眼先如何に軟化するか素より未知數のものなれど强氣に依つて宣傳された賣聯盟の成立並びに賣株が内地に賣渡切るを援合ふといふ强材料もどうやら碎みに了らんとし此邊防戰的の賣物も移出されるといふ又新田川崎の賣物を手控へて居るた强氣も相場の見込さるゝを見て居る惡化に依つて

もなく賣株の何處からこ賣棄き

安取株漸落

眼先尚不勢

安東取引株は七月中旬頃より開原方面の買進みにより株の相場は騰貴しは綿絲引續き强氣を持續したるが開原吉田を中心とする七名の連合なること判明し安東取引仲買人中に出三大吉が買に廻り其他の大多數に買に出で盛々賣に輸原を爭ひ來りし月二十五日受渡の際は吉田自ら安東に出張し現金三十萬圓を取り寄せ買方の優勢を示し

買同盟崩れ去る七日の如きは鐵嶺開原奉天安東も總投げの有樣にて安東にても約六千を投げ

たる爲め假に相場の暴落を來したるが此投物は總て京城方面より買進まれつゝあるもの〻如し其原因判明するに於ては尚一段の暴落は値すべしとあらざるなきが或時期なるこそ忘るべからずと(安東特電)

新田耕市商店 大阪竹原商店特約店 京城株取引市場仲買人 京城黄金町二丁目 電話長五七〇番 市場内一九六番

會社代引八〇三〇

主要株歩み値段

短期日歩

後場は續落

後場の京取は買方主力の解合申出に恐る弱味を見せて人氣は一段と惡化し短期三圓三十錢と寄り二圓を安値に三圓三十錢と引け三圓安今週二圓五十錢に寄り三圓安來週三圓五十錢に引け二圓九十錢安寄り六圓を高値二圓七十錢を安値さして三圓六十錢に引け二圓九十錢安安取五六圓方の急落を演じた

京取の喰合

京取の短期取引喰合は會社も仲買人も秘密に附して公表せざるが昨後場迄の喰合は左の如くにして之れに依れば主なる賣方は僅々四軒なるに買方は十四軒の多きに達し内賣方は殆んど新田川崎の兩店に止まり買方は中村留金龍李寄吉見の一千以上が主力となつて居る尤も此の買方中には既に週間物に買越しとなつて居る者もあるが相場道よりして多衆を烏合勢さして居るものとも見らるゝが果して如何

買方泣を入る

解合不調

京取の買方は愈々相場の險惡を自覺して本日後場立會前解合を申出でたるが條件折合はず遂に談判不調に終りたり

湧出

して當初の空も今は却つて賣株の勝利を見つゝある現狀に愈々氣を腐らしたる模樣もあり安利變化の趨勢より見て今回の決戰は賣方に八分の興味あるものと見られ

米況 (九日)

仁川期米

前場大波瀾

昨後場阪地のヂリ安と白鮮無雜に弗々口買方の嫌氣を催はせし投先落弗の纖烈買ひに三十九錢を高値に切めしも引跡大阪二十丁東京四五十丁の安氣配に今朝各店より寄崩の如き投物殺到して立會へは當限來ざるも中二十八圓八十錢と三十丁安に始め先限に移るや小口買方の恐怖崩れなび

二十八圓五十錢と八十九丁の激落に寄付き遂に中限より三十丁の下鞘を示すに至れり

▲第二節 大阪寄氣配ボケの三十七圓十一圓三節二十八錢の逆騰に再び場面は買もの傾模して當限來ざるも中二十九先二十九圓二十錢

錢と七十丁の反撥

に寄り付きを指へし目先迎の手詰め急きに九圓ドタと押したるも押目ば買

安東取引所仲買人 ㊥ 原田株式店 安東縣市場通 電話八七四番 二七〇〇番 六四番 四四〇〇番

熱心買利かず

今朝の大阪入電によれば西の谷殺いく熱心に買向びつゝありと雖天候の恢復によりて二百二十日の厄日無事を見越せる賣人の勢力又侮り難く寄付七圓十一錢より大引三十六錢と拔返せしも形勢何となく一段の軟弱を思はしめつゝあり

○九日前場

寄付	二八・五〇
止値	二九・三五
高値	二九・三五
安値	二八・五〇

○前場公定値

一節	二八・五〇
二節	二九・二二
三節	二九・〇九
四節	二八・九三
五節	二九・一〇
六節	二九・二〇

▲八日後場

寄付	二九・四九
止値	二九・三九
高値	二九・五六
安値	二九・三〇

▲後場公定値

一節	二九・四九
二節	二九・五二
三節	二九・三九
四節	二九・三八
五節	二九・三七

方主力たる系より現はれ一日立つたる買物は阪神湯先の買物ならんとの說なり

後場强調

▲第一節 大阪寄七圓六十五錢の上放れを移し當出來ず中二十九圓二十錢先二十九圓三十錢と五丁高に寄付

▲第二節 當出來ず中九圓十錢先四十五錢と始め二十八錢を崩れしも三十九錢と戻して引公定三十九錢

▲第三節 當出來ず中三十錢より八十五錢と伸びて十錢引公定三十三錢先三十五錢より四十錢と締り二十四錢引公定

米鼠餘聞

天災期の關係で上げた作柄くな跳めて見れば此の上々は楽觀氣分が當然だけに作柄も此頃へ込んで見たらば如何にも立派な作柄で全く見事なものと云ふべきである

商狀不透明

自然も無事に移つた二百二十日も今の處先づ安心して可いであらう此の分で通せば内鮮を通じ平年作以上は保險附きである

突込賣警戒

賣方優勢

二十五錢と引締め高

潮先賣平

今朝の寄付の不勢は前日阪地のヂリ安と厄日の無難に小口買方の投げを誘起せし事は確かなるも

京城正米

買物和當なきにあらざるも端境季を控へて荷主一般に腰強く甚期米安も一際無反響にて三等合格今揃二十八圓二十七圓二十錢地揃上玄二十六圓四十錢並五圓二十錢の持合唱へ也

株式會社仁川米豆取引所仲買人 (り)李孝健 電話長西十五番 ヤマリ

仁川正米

期米安を受けて買向二十八圓揃みか唱ふるも賣人は五十錢高を唱へて賣應ぜず自然見送りの體にて閑散なり

釜山正米

今市場は期米安に買方手控へ結局三十錢安の處北三等穀良二十九圓十錢前物二十八圓八十錢にて三千四百俵の商内ありたり

大豆 は買物手控へに弱りたる商內なく結局日用當の買物にて十四圓三十錢にて二百俵の商內ありたり(九日)

仁川米豆取引所仲買人 ㊀ 仲買店 仁川海岸町 長電話一二〇五 九六番

大阪三品

東京期米

仁川米豆取引所仲買人 ㋒ 仲買店 電話 六一五番 六三三番

大阪期米

兵庫期米

仁川米豆取引所仲買人 (ナ) 仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長九〇五番 四四九〇〇番

下關期米

仁川米豆取引所仲買人 吉金仲買店 電話長八三番 八五番 七六四番

仁川米豆取引所仲買人 (正) 仲買店 仁川海岸町 電話一八二 長一八三番

十錢安

倫敦銀塊相場 十八片四分の三 米棉三圓五

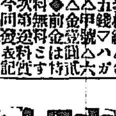
貴眞膏

膏藥と云へば きめゝ確かな

リウマチス、レンケイ痛、肩ノこり、打身、キリキズ、凡テ全身ノ痛

藥價 五十錢迄 全國到ル處ノ藥店ニアリ

本舖 藤村森榮堂 京都東洞院三條



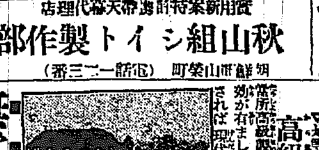
△ハガキ一版△乙號七拾五錢△參枚組△キ號拾五錢マハ△甲號前金△前金は△六版細組無料こは後送料表記す 後金はハガキで申込次第迄送 纏加算の上密送す 各同好 記念として今回限り無代進呈す 謄國紙幣廿五圓札 文五百名 東京市本郷森川町 振替東京四七一九〇一 郁榮堂

◉肉體的美人◉ 純裸體 美人

春明女の内心 胸の思いや懇のもだ〻へのつれかくさゞる、名の眞寫眞にて、身に一糸をもつけざる、女の の珍寫眞なり くに是非共御覧みて、お樂しみあれ。

赤鼻 ハナ アカ

如何程困難なる方も必ず治る良藥有り申込み有れ無代詳報す藥入用ハガキ十錢切手送れ直に送る 播州明石相生通り 森末博藥院



實用新案特許帝天幕代理店 秋山組テント製作部 朝鮮京城府黄金町 (電話一二三番)

京城學校組合 工事請負公告

一京城公立高等女學校新築工事 右來九月十六日午前十一時入札 詳細ハ當組合門前ニ掲示ス

購買公告

一大麥當萬貫外壹點 右來九月十三日午前十一時入札 詳細ハ當府門前ニ掲示ス 京城府

謹告

拙者儀旭町一丁目に居住中は多年方御眷顧を蒙り難有奉謝候其後大正八年中より黄金町四丁目に於て多年の老舗なる高麗人蔘製劑所の營業を繼承し人蔘エキス製造業開始大方の御引立を蒙り居候處今般業務擴張の爲め黄金町三丁目完成昌德宮通に營業所を新築し設備萬端奉希上致候に付何卒倍舊御引立を賜り度奉承認を蒙り居候の純良なるは既に大方の御承認を蒙り居り價格も充分勉強仕居候間何卒多少に不拘御用命被下度奉希上候匆々 頓首

京城府黄金町三丁目(昌德宮通) 紙蔘精本舗 高麗人蔘製劑所 所主 佐野喜平次 電話六七 振替京城四一三六番

肺結核特効藥

ネオヨヂノーゲン 第三號 チアコール 一號

注射用三回にて略血咳全止し食慾增進し十回位にて熱下向し血色良好となりラッセル全止又は著しく減少す殊に注目すべきは肺核患者の併有病たる神經衰弱は多く四五回にて全治し精力充實するも硬骨注射巧妙なる醫師に注射を乞はるべし

注射代用内服藥にして六分の沃度は消化球を增多して結核菌を殲滅せしめ配合劑は略痰制止吸喉頭結核豫防等の効を上ぐ

詳細說明書治驗例ハガキにて御申込次第進呈

二十日分 三圓六十錢 全國著名藥店にあり 品切の節は發賣元へ御下命を乞ふ(送料不要)

大阪市御堂町・東京市本郷町 (チエ)發賣元 (沃度) 高木商店藥品部

士木建築請負業 長谷川組 主 豐松 平壤壽町七拾二番地 設計製圖ノ御好ニ應ズ

無代進呈

恐ろしい!! 淋病も梅毒も

サッパリ治る

▽如何にせば初期の内に容易く病毒を驅逐する事が出來る?
▽他藥効なく病毒が全身に蔓延せる人は如何するが早道か?
▽經驗の關り目に色々と現れる慢性症は如何するが良きか?
▽是等の場合に一番ヨクキク安全秘密經濟な最善の良法は…

高級研究製藥の自宅療法であります

當所高級製藥は專門の學理と實驗の一致した他に類例を見ない斯道の効が有まして治癒つたと云ふ方の禮狀も山をなすの盛況であります されば現代で一番ヨクキク自宅療法として常に賞讃されて居ります

種		類
淋病	一週分	A號二圓B號四圓
	半月分	A號三圓八十錢B號八圓
	一月分	A號七圓B號十五圓
梅毒用	半月分	A號五圓八十錢B號十一圓
	一月分	A號九圓B號十四圓

現價表の內でA號は何れも感染して間もない症によく効き、又B號は當所の特別研究製劑で二期以上に進んだ慢性頑固症に適合する特殊藥です ●ハガキ注文は直に代金引替小包便で送る ●ハガキで梅毒(受付一番)淋病(受付二番)と各病名を御明示下され秘封して匿名で送ります

東京市向島小梅町 東京藥化學研究所

安東の船舶出入 ▲朝鮮郵船會社基丸 七日入港 錦帆 十日出帆すべし

愛婦會員募集 愛國婦人會朝鮮支部にては平安北道全部に亘り目下會員の募集中なりと

浮草（48）

入江新八
守田早苗 畫

あらそひ（二）

『オヤ、入つしやいまし』
道代と仲よしだつた宿屋の女中が宮崎の顔を見ると出て來て云つた。そして帯の間から、手紙を出して、宮崎の前に差出しながら、
『あの、あの方は今朝程何處へかお引つ越しになりました。あなたが若しお見えになつたら、此をお渡しゝてくれろと仰しやいました』
『ね、今朝引越したね？何處へ？』
『さあ、何處でございますか。朝鮮の方だつて仰しやつてお出でしたから、朝鮮へお歸りになつたのぢやありますまいか。』
『朝鮮へ歸るつて云つてゐたかね？』
『否ね、何とも仰しやいませんでした。その手紙を御覽になると、分るで御座いませう。』
『おほきに……』
と宮崎は云つて、封を切つて立ちながら讀んだ。
私は急に奥山先生の御宅へ御厄介になることになりましたので、今朝程此のやどやを立ちました。いろ／＼あなたに申上げたいこともありましたけれど、急いだものですから其儘先生のお宅へ參ります。いづれお目に掛つて詳しいことは申上げます。取急ぎ右のことばかり。
み　かしこ
と書いてある。宮崎は、それを讀み終ると『アヽ、分かつた。行先は分かつた……』と云つた。そして、心の中で、さう／＼あの秋子の家へ行つてしまつたんだな。秋子のやうな女の家へ行くことはあの人の前途の爲にいいことではない。……と思ひながら、
『あの人獨りで出ていつたのかね。誰かと一緒だつたかね？』
『さうでしたか、私はよく存じませんが、此宿を御出かけになる時は、河村さんと御一緒でしたよ。あなたは河村さんを御存じでしたね？』
『イヤ、僕はそんな人は知らない。さうも有難う……左様なら……』
宮崎は道代が自分に默つて、獨斷で秋子の家に行つたことに就いては、あの河村が誘惑したのだと思つた。河村といふ男が、道代の知己になつたことは道代の爲に大變惡いと思つてゐたことが、さう／＼現れて來た。河村につれられて秋子の家へ行つた以上、もう一寸は道代にも逢へないだらう……困つたことになつたと宮崎は思ひ乍ら歩いてゐた。
彼は、毎晩、歸りの遲くなる爲に、その都度妻の皆子と云ひ爭ふ昨今の家庭を思ふと、家に歸ることが嫌な氣がした。併し、今日は兎に角歸らうと思つて電車に乘つた。何處かで不圖道代に出遇ふやうなことがないかと思つたりした。道代が自分に逢ひに此の電車に乘つてゐたら何うだらうといふやうなことを考へたりした。彼が家に歸ると、皆子は居なかつた。玄關の戸も閉つてゐた。彼は、何時も兩人の中の誰かが家をあけるやうな時に鍵をしまつて置く所へ手をやつて見ると、鍵があつた。それで戸を開けて家へ這入つた。蚊がぶん／＼と飛んでゐた。彼は苦り切つた顔をして汗になつた服を脱いでゐる所へ、皆子が歸つて來た。
『オイ、人の留守に何處へ行つてゐたんだ。困るぢやないか』
彼は頭から怒鳴つた。
『たまに、御自分が早く歸つたと思つて、そんなに威張らないでも好いでせう。』
皆子はツンとして云ひ返した。
『何處へ行つてたんだい。』
『自宅へ行つてゐたんです。』
『俺の歸る時分には歸つてゐないぢや困るぢやないか。』
『あなたの歸る時間が此頃決まつてゐて？あなたは此頃當前の時間に歸つたことはないぢやありませんか。』
『餘計なことを云はないで、早く夕餐の仕度をしろ。腹がへつてらあ』
『さうですか。私はまた道代さん所で食ていらつしやると思つてゐました。何故、道代さんとこで食つて來なかつたんです。』
皆子は皮肉を顔なして言つた。

皮膚科・外科　專門　扇田醫院　京城太平通二丁目　電話二二五八

河原寫眞舘　電話二九八一番

川柳　剣花坊選

人

○　龍山　寶六
美くしい人に見せべく顔を塗り
評　原句には『いゝ加減あやつツて置く凄い腕』とあつたがこれは無理に〈人〉の字を入れて説明しなくてもいゝ香説明してはいけない

○　京城　悠蝶
人並になたつもりの長煙管

○　京城
二次會が辻まで來ると二人減り
評　こしらへ過ぎた

○　烏致院　吹竹
カフェーに人ではいるやうになり
未亡人きまりの悪いほごめかし

○
人からはごいうれても金を貸し
評　原句『金が貯め』とありそれでは露骨な告白で餘情が無い『貸し』とすればいろ／＼の波瀾が出來る考へて戴きたい

○　仁川本町　瀬峰
人の子をほめて我子の話なし
評　原句は『我をほめさせる』とあつた

○　京城　水陰
狂人になつてるうちに義人死に
絞首臺もう良心も追つ付かず
評　皮肉な句

○　京城　一松庵
人にして馬牛狐仲の町
評　廓では客引を『牛』といひ客遊りを（馬）といひ娼妓を『狐』といふ

○　京城　偃花坊
人望を負つてゐたのが大ぬすと
評　昔は玉弥恭謙して人に下り今は寶縁の郵便局長

○　龍山　寶六
宙返り人と思へぬ事もやり
十二階下にはかなき命なり

○
あの人が先の且那よさめかけ
評　鐵面皮錢府蛋

○　烏致院　吹竹
人さまに讀めない文を下女がくれ
附いて來る男人面馬名なり

○　濟州　笠坊
人込みに鴎のやうに巡査居る
評　好寫生

人になれこうに人にはなつてゐる
評　原句『人らしい人になれよ』と觀はいふ

盲腸炎に世界無比の盲腸湯あり一日にして苦痛を去り必ず全治諸病合藥なり
京城府南大門外御成町五三
取次電話一九〇一　博愛堂

川柳次の題

課題『行倒れ』『友』『戀』『蛇』
賞金　天の句へ壹圓
締切　九月三十一日
句數　五句以內
宛所　本社詞苑係宛
用紙　端書に限る

行倒れ
（例句）
豐葦原瑞穗國に行倒れ　花醉
（同）
何い昔は名ある男達　剣花坊

友
（例句）
ちり／＼に友は大人に成りにけり　五葉
（同）
友達に話を拗かせて蒼向ひ　剣花坊

戀
（例句）
戀といふことは傾城つまむほど　古川柳
（同）
戀もこれ迄なりや子が五人　剣花坊

蛇
（例句）
地上祇蛇はどこに這道つて行く　剣花坊
（同）
蛇苑る松葉牡丹の赤い道　同

物理療法
京城日報代理部（電話二七四八）
施術時間は毎日午前九時から午後四時迄
△難病に悩む人は速かに物理療法を施されん事を御勧めします慢性の難病でも速かに快癒するものが澤山あります
△神經痛やリウマチス、脚氣や淋毒性關節炎、睾丸炎、淋毒性或はリウマチス性心臟病等は勿論のこと、慢性の胃腸病や腎臟炎や婦人病などには卓効が有ります
△癩病ルイレキ腋臭痔核や水蟲の如き頑固な皮膚病など藥の効驗ない病も全癒します。

▲私は内地で荒物商を……な悩んで居た者ですが失敗の結果渡鮮したのですが未だ職が無て甚だ困難して居るのですが何處か結果造又は仕組に打上げに使つて下さる御方はないでしようか有ましたら本欄迄御知らせ下さい御伺ひ致しますから（困難生）▲私は閑專生徒ですが宿がなくて非常に困つてゐます閑靜な所で四疊半か六疊一間御借し下さるお方はないでしようか若しありますならば下記へ直ぐ參上致します（市内櫻井町二ノ一四五　秋吉方エム生）▲私の裏に有る延六疊に押入附き離れ一室が空いて居りますから銀行又は會社へ御出掛になる獨身の御方を一名又は二名程まかない附上度思ふて居ります御希望の御方樣は『蓬萊町一ノ二三岡本方へ』御來談を願ひます宿料御相談の上出來得る丈け安く致します（金子）▲本紙七日付商會者だより欄の龍山伏顧生にお知らせします御希望に相應しい處が御座いますから御世話致します可成急いで電話二五三四・内金澤迄御問合せ下さい、龍山の伏顧生に告ぐ大至急に子供一人極閑靜な家庭にて淋しくて困く居ります喜んで御希望に副ひます御面談の上にて取極め度いと思ひますから至急宅まで御越し下さい（初音町二〇〇ノ二內山）

關釜連絡船
釜山發　朝六、五〇　夕八、三〇
十日　朝、壹岐丸　夕、高麗丸
十一日　朝、博愛丸　夕、新羅丸
十二日　朝、壹岐丸　夕、高麗丸

襟を汚さぬ
すつきりとしたみやびたるお化粧はたゞホーカー白粉によりてのみ得らる美しさと優しさを與ふること正に天下一品

ホーカー白粉
色白く美人となる
世界的の家庭化粧料　ホーカー液
定價　大一圓十五錢　中五十錢　小廿八錢　送料內地六錢

白さの異ふ
無鉛　無害を保證されたる誇るべき白粉として淑女に推薦し得るもの唯本品のみ、皮膚の美しき發達を望み、障害を恐るゝ人は乞ふ試みられよ！
定價一瓶　三十六錢
送料內地　六錢
最寄の店に品切の節は振替又は切手代用直接本舗へ御注文あれ
ホーカー化粧品本舗　東京神田和泉橋際　堀越嘉太郎商店
電話神田一四〇二・一四〇三　振替口座東京一五六

洗濯と臺所用
品質が純良で、如何なる洗濯石鹼に比べても値段の割合が一番安い、理想的の德用品
○實用白石鹼（みつわ・しろしやぼん）
一、この實用白石鹼はミツワ石鹼と同じく、優良な原料を使つて、ミツワ石鹼製造所で精製したもの故、頗る純良な品質のものです。
一、落の悪い浮石鹼や、減の早い洗濯石鹼の缺點を除いたことは、本品の特徴です。
一、値段は品質に比べて頗る安價で、如何なる洗濯石鹼、浮石鹼よりも實用的で徳用なものです。
一、この實用白石鹼で洗濯するには、此石鹼汁を拵へて、布片を浸して置き二、三時間の後、湯又は水で濯げば、それで汚垢は十分に落ちて、綺麗に洗濯が出來ます。
一、臺所の器具や食器などを洗ふに、惡い臭が無く、汚垢がよく落ちるので臺所に適してゐますが、布巾又は雑巾の洗濯は、衛生上必要ですが、それには實用的の此石鹼が一番適當です。
一、其他工場用としても、洗濯用としても、一般の家庭雑用石鹼として、品質値段共に本品に優れたものは、絶對に無いと申してよいほど、實用的の石鹼です。
○ミツワ石鹼本舗
東京市日本橋區橘町四丁目　丸見屋商店
營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇　振替貯金口座東京七一〇
○實用白石鹼　定價一個金貳拾錢

（現品縮寫圖）

傳染病科（結核、梅毒、痳病其他）
小兒科
中谷醫院
京城大和町一丁目　電話一三〇三番
（咯痰、兩便、血液、細菌）檢査需に應ず

自動車　改造修理　諸機械製作
京城岡崎町五番地　電話取次京城一〇二番
和田鐵工所
前東京瓦電自働部技工長　主任　川端忠四郎

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目　電話二二〇三番

御飯の後では何を措いても
ライオン水歯磨のうがひ！
口はさつぱり、齒はされい。
ライオン歯磨本舗　小林商店
（1352—10）